

福井市都市計画マスタープラン  
改訂のための市民アンケート調査

**集計結果**

平成 20 年 3 月

福井市都市戦略部都市計画課

# 【 目 次 】

## 第1部 調査の概要

1. 調査の目的	1
2. 調査の期間	1
3. 調査の対象及び回収状況	1

## 第2部 調査結果の概要

1. 回答者の性別	2
2. 回答者の年齢	2
3. 回答者の居住地	3
4. 回答者の居住歴	4
5. 最も利用する交通手段	4
6. 居住地の状況	5
7. 居住地に必要な対策	6
8 (1). ルールの必要性	7
8 (2). 必要なルール	9
9. まちづくりの方向性	10
10. 交通対策	12
11. やすらぎやうるおい対策	14
12. 災害対策	16
13. 中心市街地を訪れる頻度	18
14. 中心市街地を訪れる目的	20
15. 中心市街地を訪れる手段	22
16. 中心市街地に必要な施策	24
17. まちづくり活動への興味	26
18. 市民と行政の関係	28
19. 市民が主体的に取り組む施策	30
自由意見	32

## 第3部 資料編

1. アンケート調査票	34
2. その他のクロス集計	42

## 第1部 調査の概要

### 1. 調査の目的

福井市は美山町、越廼村、清水町と合併（平成18年2月）し、人口約27万人の新しい市に生まれかわりました。これから本格化する少子高齢社会や環境問題のもとで、より一層の効率的な都市運営や安全・安心なまちづくりに取り組み、北陸地方の中核都市として個性的で魅力あるまちづくりを行っていくため「福井市都市計画マスタープラン」の改訂を行うこととしたものです。

本調査は、まちづくりに対する市民の皆様の意向などを把握し、今後の都市づくりに生かしていくことを目的として実施したものです。

### 2. 調査の期間

平成20年1月25日～平成20年2月12日

### 3. 調査の対象及び回収状況

本アンケート調査は、市内在住の18歳以上の方を対象に5,000人を無作為に抽出し、郵送による配布・回収方式で実施しています。

回収状況は、次の通りです。

配布数	5,000
回収数	2,230
回収率	44.6%

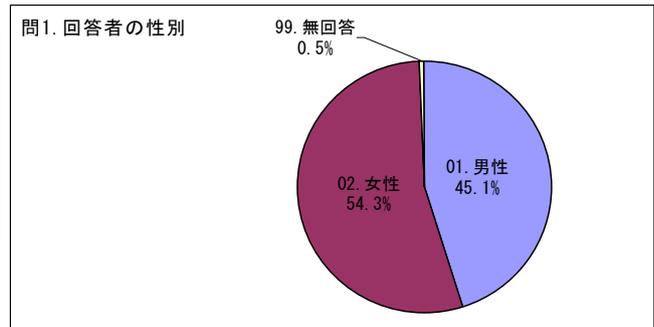
## 第2部 調査結果の概要

はじめに、あなた自身のことについて、お聞かせください。

### 問1：あなたの性別（1つ選択）

表1 回答者の性別

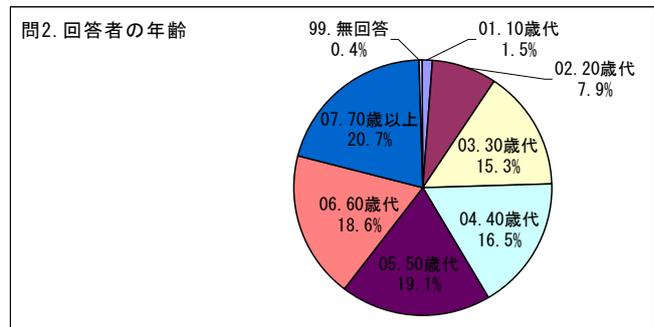
性別	回収数	構成比
01. 男性	1,006	45.1%
02. 女性	1,212	54.3%
99. 無回答	12	0.5%
合計	2,230	100.0%



### 問2：あなたの年齢（1つ選択）

表2 回答者の年齢

年齢別	回収数	構成比
01. 10歳代	34	1.5%
02. 20歳代	176	7.9%
03. 30歳代	342	15.3%
04. 40歳代	368	16.5%
05. 50歳代	426	19.1%
06. 60歳代	414	18.6%
07. 70歳以上	461	20.7%
99. 無回答	9	0.4%
合計	2,230	100.0%



問3：あなたのお住まいの地域（1つ選択）

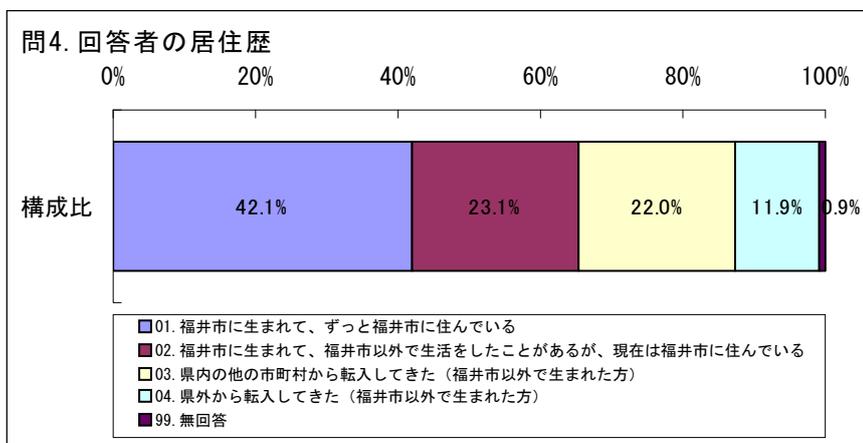
表3 回答者の居住地

地区別	回収数	構成比	地区別	回収数	構成比
01. 木田	113	5.1%	26. 森田	90	4.0%
02. 豊	104	4.7%	27. 明新	90	4.0%
03. 足羽	59	2.6%	28. 安居	38	1.7%
04. 湊	67	3.0%	29. 一光	0	0.0%
05. 春山	43	1.9%	30. 殿下	3	0.1%
06. 宝永	65	2.9%	31. 越廼	9	0.4%
07. 順化	31	1.4%	32. 清水西	22	1.0%
08. 松本	101	4.5%	33. 清水東	21	0.9%
09. 日之出	69	3.1%	34. 清水北	26	1.2%
10. 旭	67	3.0%	35. 清水南	23	1.0%
11. 日新	68	3.0%	36. 大安寺	9	0.4%
12. 清明	65	2.9%	37. 国見	13	0.6%
13. 東安居	53	2.4%	38. 鶉	31	1.4%
14. 社南	103	4.6%	39. 棗	12	0.5%
15. 社北	63	2.8%	40. 鷹巣	19	0.9%
16. 社西	33	1.5%	41. 本郷	15	0.7%
17. 麻生津	73	3.3%	42. 宮ノ下	7	0.3%
18. 和田	60	2.7%	43. 酒生	30	1.3%
19. 円山	59	2.6%	44. 一乗	9	0.4%
20. 啓蒙	65	2.9%	45. 上文殊	27	1.2%
21. 岡保	23	1.0%	46. 文殊	17	0.8%
22. 東藤島	33	1.5%	47. 六条	21	0.9%
23. 西藤島	34	1.5%	48. 東郷	38	1.7%
24. 中藤島	95	4.3%	49. 美山	48	2.2%
25. 河合	38	1.7%	99. 無回答	28	1.3%
			合 計	2,230	100.0%

問4：あなたの居住歴（1つ選択）

表4 回答者の居住歴

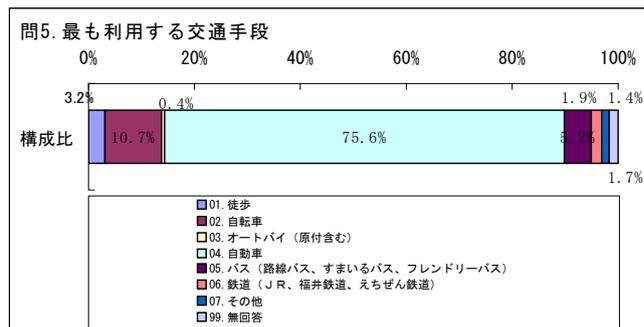
居住経験別	回収数	構成比
01. 福井市に生まれて、ずっと福井市に住んでいる	939	42.1%
02. 福井市に生まれて、福井市以外で生活をしたことがあるが、現在は福井市に住んでいる	516	23.1%
03. 県内の他の市町村から転入してきた（福井市以外で生まれた方）	490	22.0%
04. 県外から転入してきた（福井市以外で生まれた方）	266	11.9%
99. 無回答	19	0.9%
合 計	2,230	100.0%



問5：最も利用する交通手段（1つ選択）

表5 最も利用する交通手段

交通手段別	回収数	構成比
01. 徒歩	71	3.2%
02. 自転車	239	10.7%
03. オートバイ（原付含む）	8	0.4%
04. 自動車	1,685	75.6%
05. バス（路線バス、すまいるバス、フレンドリーバス）	115	5.2%
06. 鉄道（JR、福井鉄道、えちぜん鉄道）	43	1.9%
07. その他	32	1.4%
99. 無回答	37	1.7%
合 計	2,230	100.0%



1. あなたがお住まいになっている地区（小学校区程度の範囲）の状況について、お聞かせください。

問6：項目ごとに当てはまるところに○を付けてください。（1つ選択）

(1) 全体の傾向

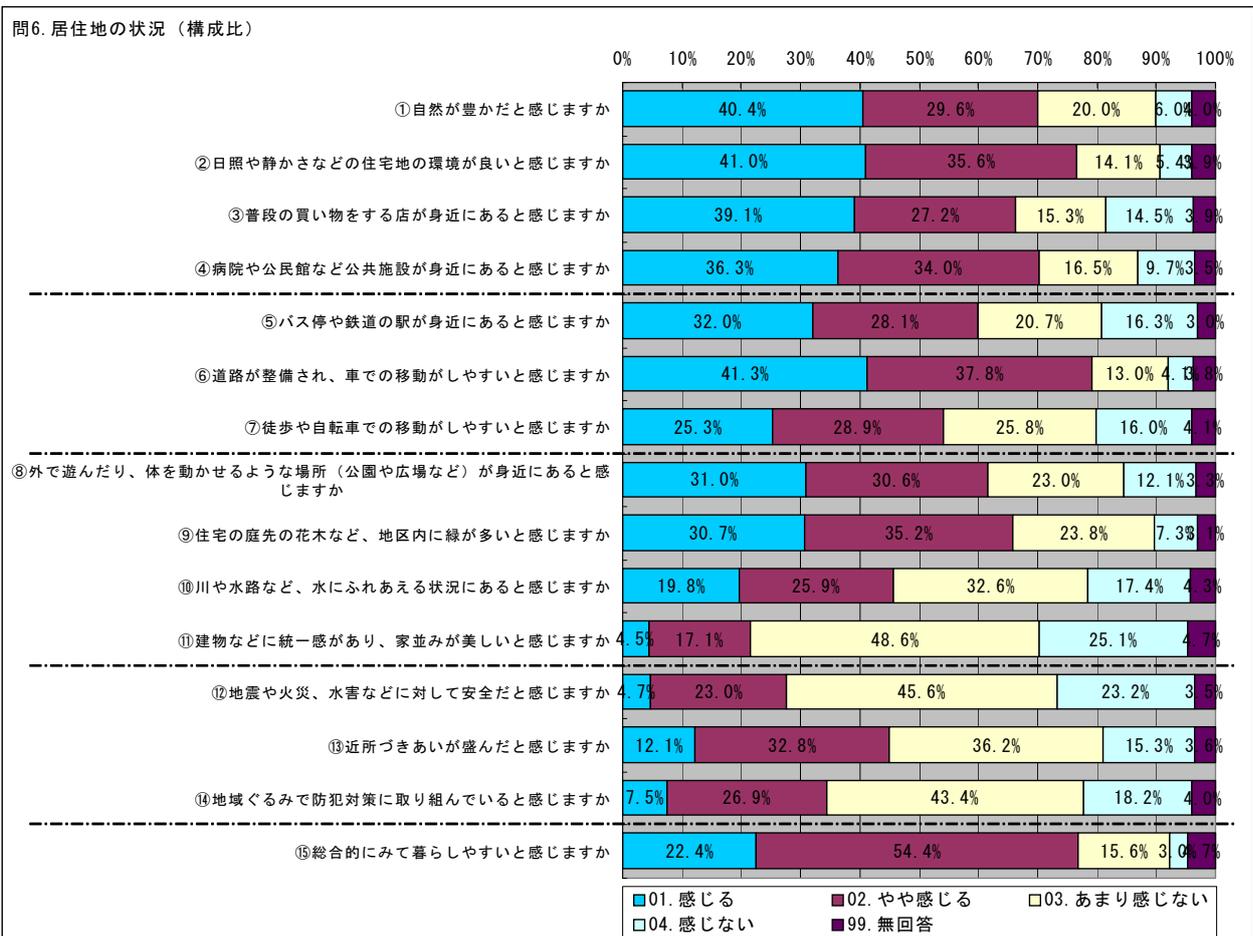
居住地の暮らしやすさに対する⑮総合的な評価は、「01. 感じる」、「02. やや感じる」を合わせて76.8%と非常に高くなっています。

生活環境（①～④）については、どの項目も「01. 感じる」、「02. やや感じる」を合わせて7割程度を占めています。

道路や交通（⑤～⑦）については、道路については「01. 感じる」、「02. やや感じる」を合わせて8割程度ですが、公共交通の便、徒歩や自転車での移動に対しては、やや低くなっています。

緑や景観（⑧～⑪）については、公園や緑の量については「01. 感じる」、「02. やや感じる」を合わせて6割程度ですが、親水、景観に対しては低くなっています。特に、家並みの美しさに対しては、評価が低くなっています。

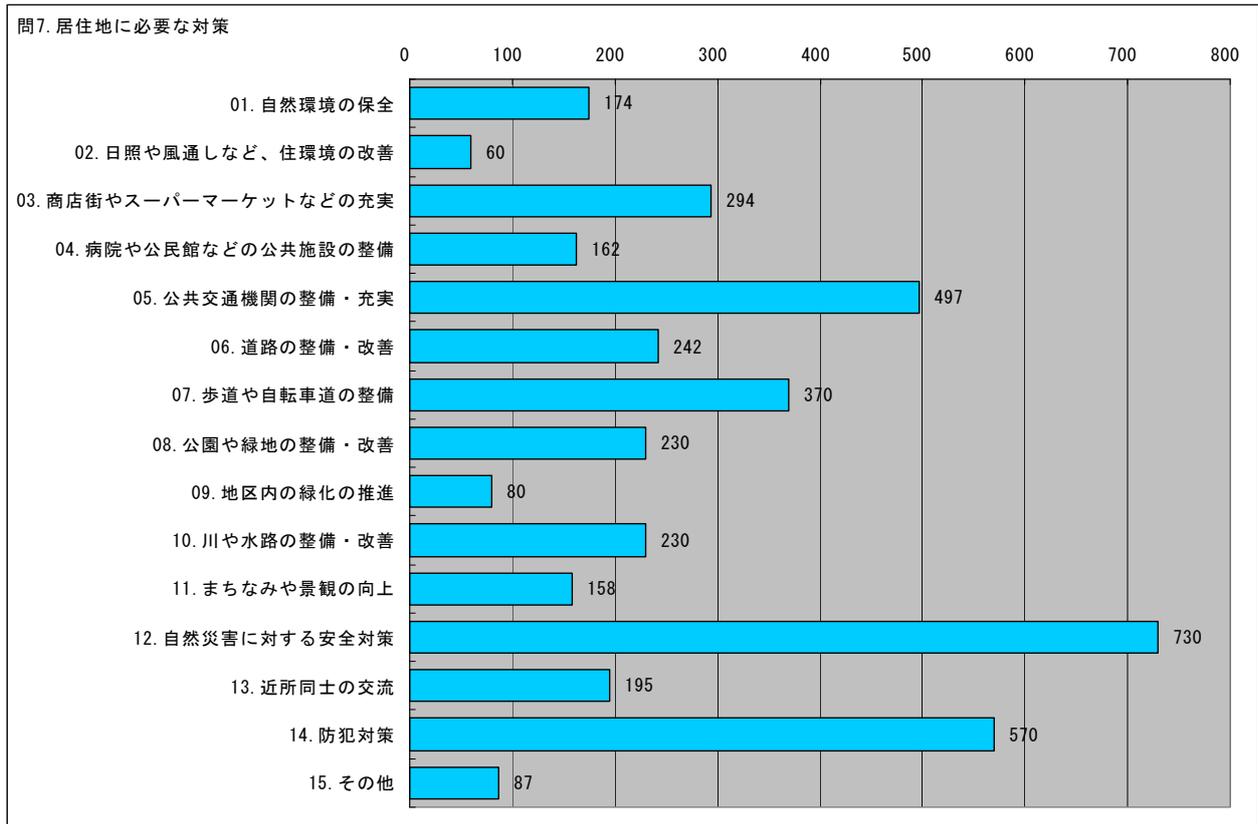
安全や安心（⑫～⑭）については、他の項目に比較して低く、特に自然災害に対して低くなっています。



問7：問6の項目に関連して、今後、皆さんのお住まいの地区で特に対策が必要であると思われる点について、お聞かせください（2つまで選択）

(1) 全体の傾向

居住地に必要な対策については、「12. 自然災害に対する安全対策」が最も多く、回答者の32.7%の方が選択しています。次いで、「14. 防犯対策」、「05. 公共交通機関の整備・充実」、「07. 歩道や自転車道の整備」、「03. 商店街やスーパーマーケットなどの充実」の順に多くなっています。

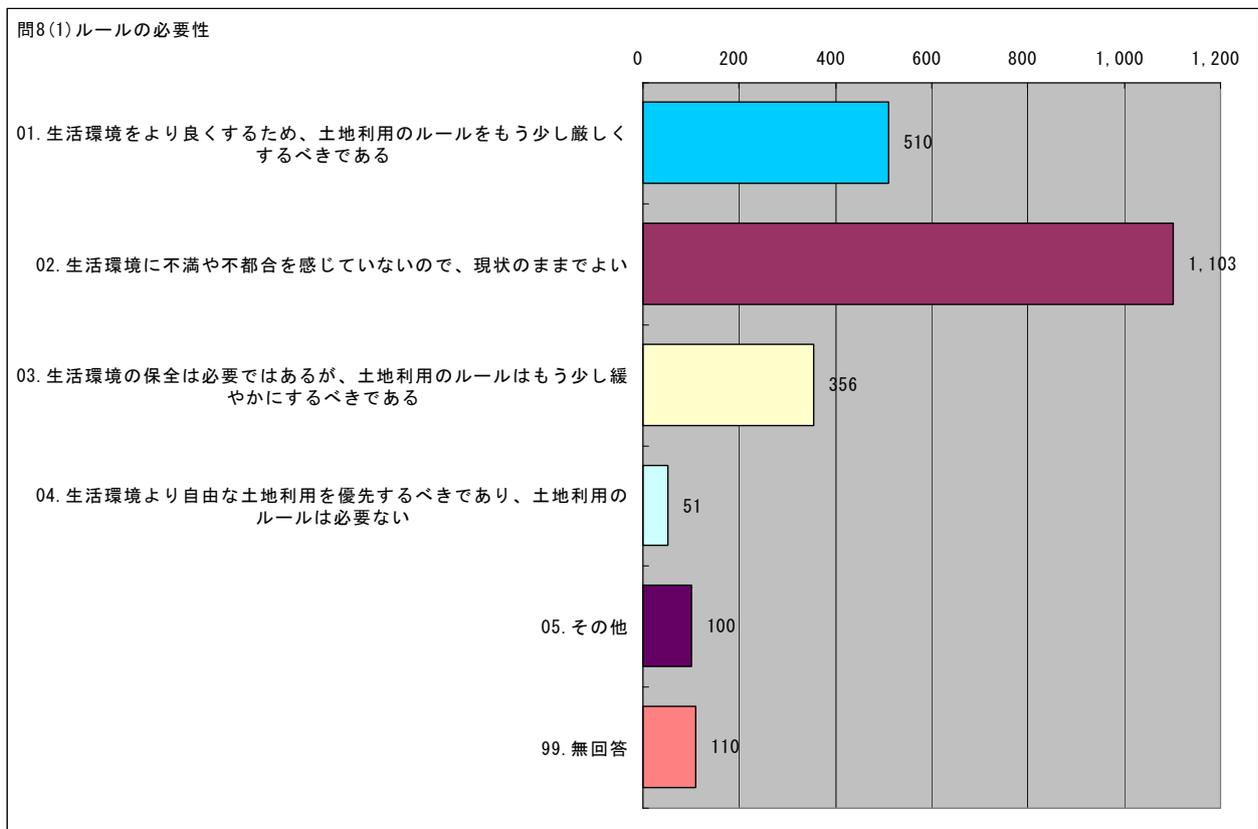


問8(1)：福井市では、生活環境を守るため、土地の使い方や建物の建て方（土地利用）に関するルールを定めていますが、こうしたルールをどのように感じておられますか。皆さんのお住まいの地区を対象にお答えください。（1つ選択）

### (1) 全体の傾向

生活環境を守るルールの必要性について、49.5%の方が「02.生活環境に不満や不都合を感じていないので、現状のままでよい」と回答しています。

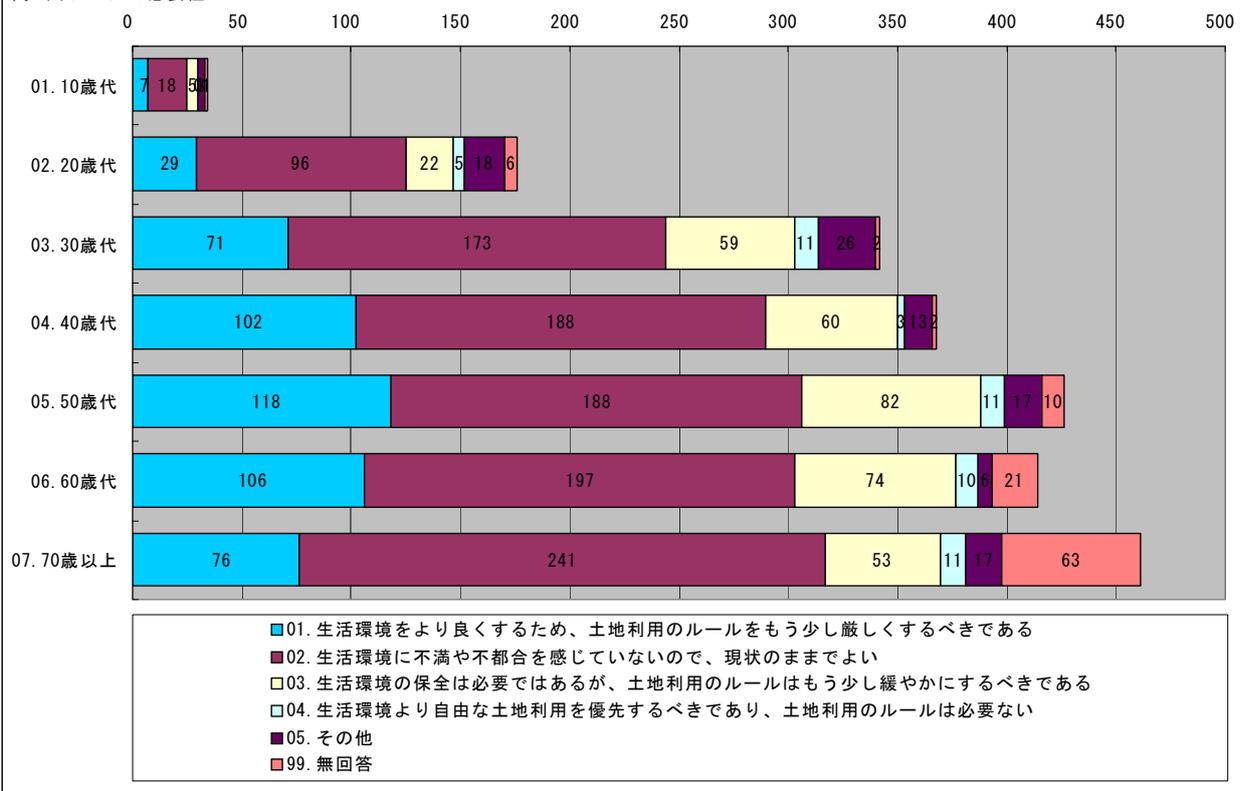
これに対して、「01.生活環境をより良くするため、土地利用のルールをもう少し厳しくすべきである」が22.9%、「03.生活環境の保全は必要ではあるが、土地利用のルールはもう少し緩やかにすべきである」が16.0%となっています。



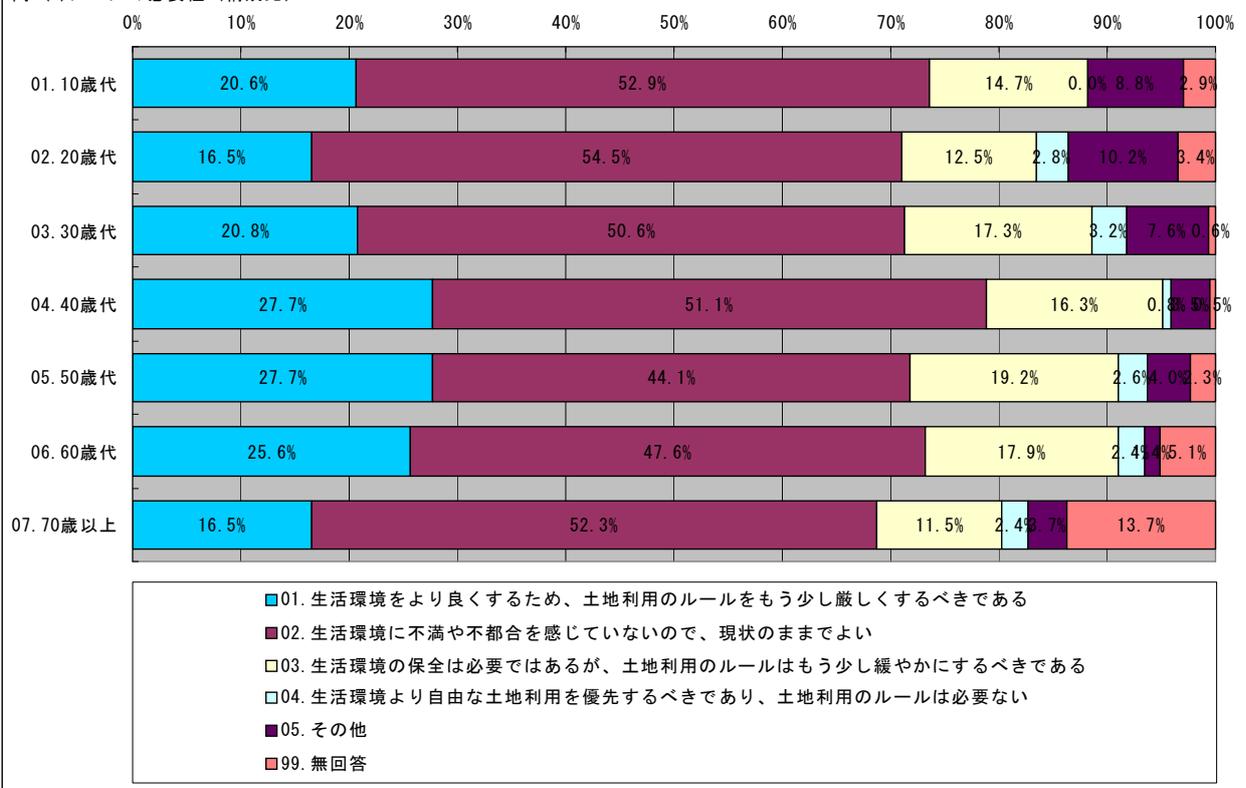
### (2) 年齢別の傾向

年齢別には「02.生活環境に不満や不都合を感じていないので、現状のままでよい」と回答している割合に大きな違いは見られませんが、「01.生活環境をより良くするため、土地利用のルールをもう少し厳しくすべきである」と回答している方は、40歳代～60歳代でやや高くなっています。

問8(1) ルールの必要性



問8(1) ルールの必要性 (構成比)

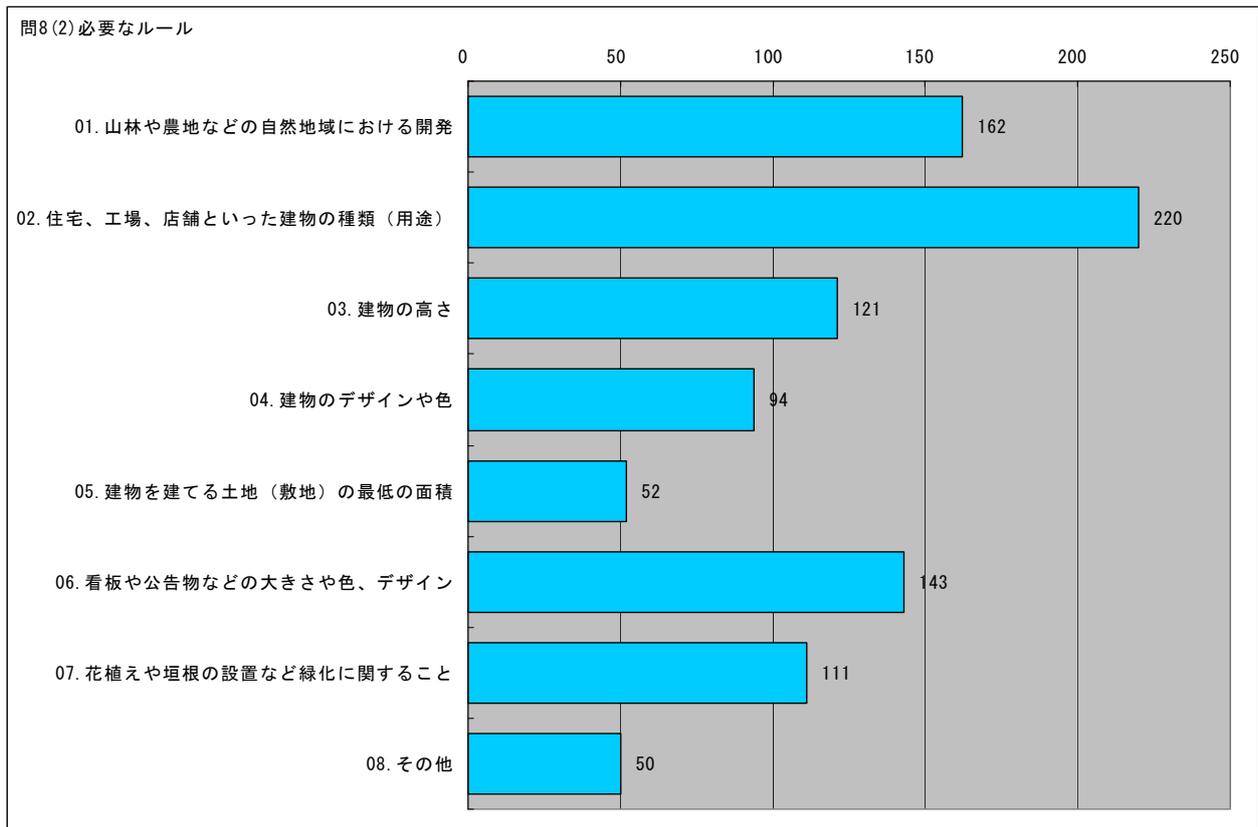


問8(2)：上記の質問で、1に○を付けた方は、どんなルールが必要だと思いますか。(すべて選択)

(1) 全体の傾向

必要なルールについては、約4割の方が「02.住宅、工場、店舗といった建物の種類（用途）」を選択しています。

次いで、「01.山林や農地などの自然地域における開発」、「06.看板や広告物などの大きさや色、デザイン」、「03.建物の高さ」の順となっています。



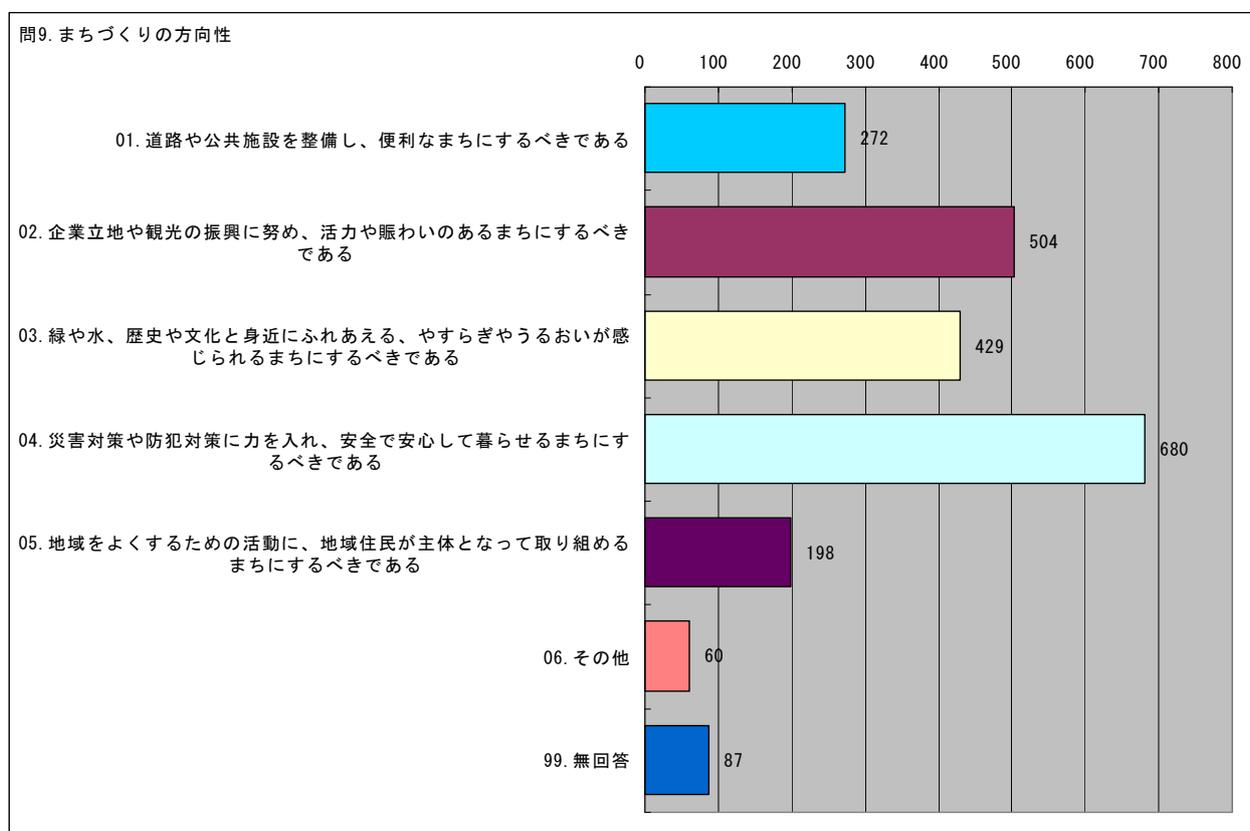
## 2. 福井市の今後のまちづくりの方向性（市全体）について、お聞かせください。

問9：今後は市全体として主にどのようなまちづくりの方向に進むべきだと考えますか。（1つ選択）

### (1) 全体の傾向

今後のまちづくりの方向性については、約3割の方が「04. 災害対策や防犯対策に力を入れ、安全で安心して暮らせるまちにするべきである」を選択しています。

次いで、「02. 企業立地や観光の振興に努め、活力や賑わいのあるまちにするべきである」、「03. 緑や水、歴史や文化と身近にふれあえる、やすらぎやうるおいが感じられるまちにするべきである」の順で多くなっています。

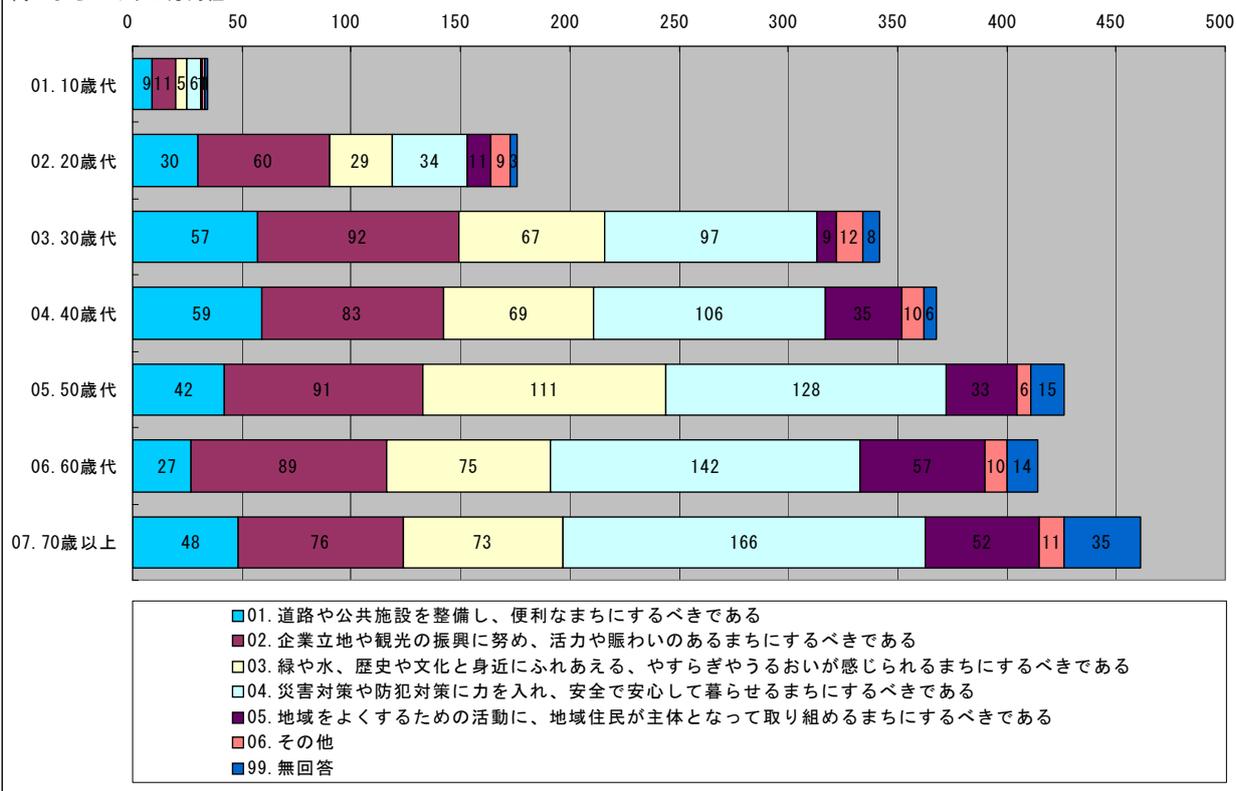


### (2) 年齢別の傾向

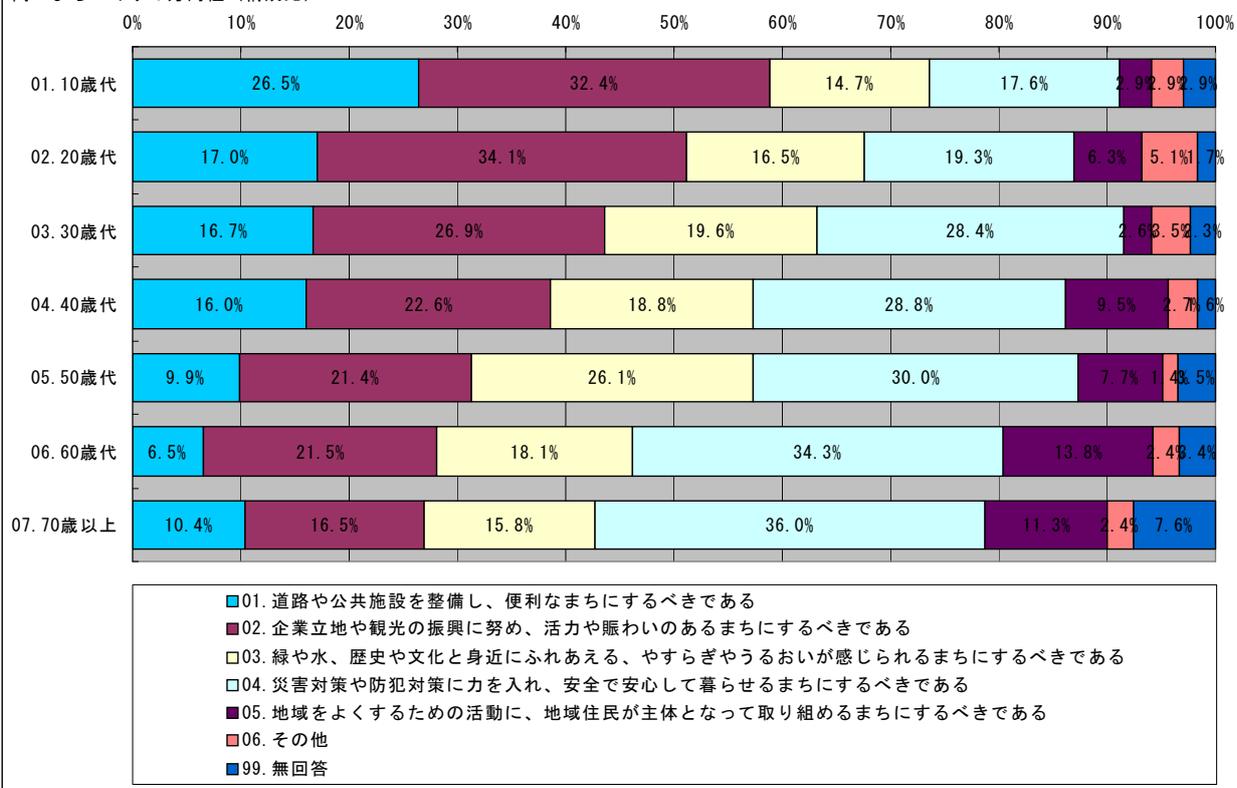
年齢別に見ると、「01. 道路や公共施設を整備し、便利なまちにするべきである」、「02. 企業立地や観光の振興に努め、活力や賑わいのあるまちにするべきである」は、年齢が若くなるほど選択する人の割合が高くなっています。

逆に、「04. 災害対策や防犯対策に力を入れ、安全で安心して暮らせるまちにするべきである」、「05. 地域をよくするための活動に、地域住民が主体となって取り組めるまちにするべきである」は、高齢になるほど選択する人の割合が高くなっています。

問9. まちづくりの方向性



問9. まちづくりの方向性 (構成比)

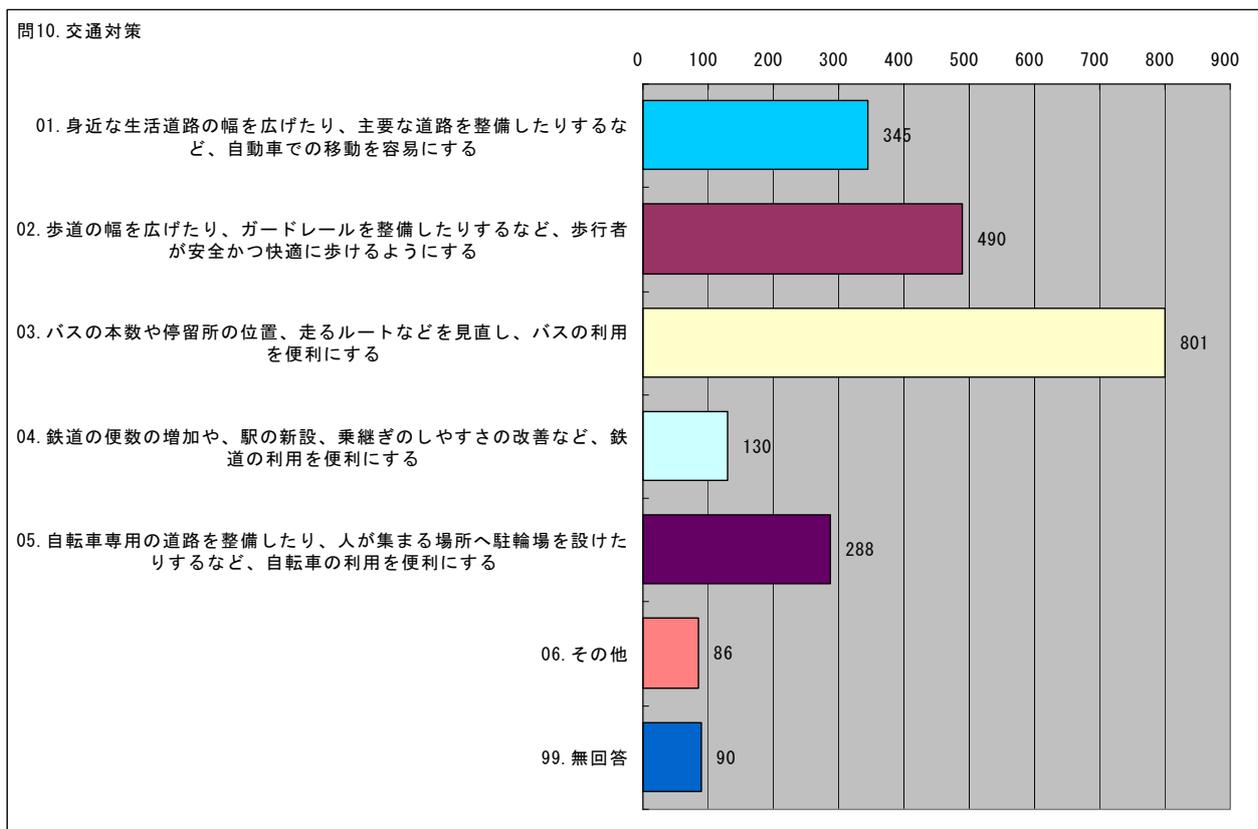


問 10：交通対策について、今後、どのようなことに取り組むべきだと思いますか。（1つ選択）

(1) 全体の傾向

取り組むべき交通対策については、「03. バスの本数や停留所の位置、走るルートなどを見直し、バスの利用を便利にする」を選択する方が最も多く、35.9%を占めています。

次いで、「02. 歩道の幅を広げたり、ガードレールを整備したりするなど、歩行者が安全かつ快適に歩けるようにする」、「01. 身近な生活道路の幅を広げたり、主要な道路を整備したりするなど、自動車での移動を容易にする」の順で多くなっています。

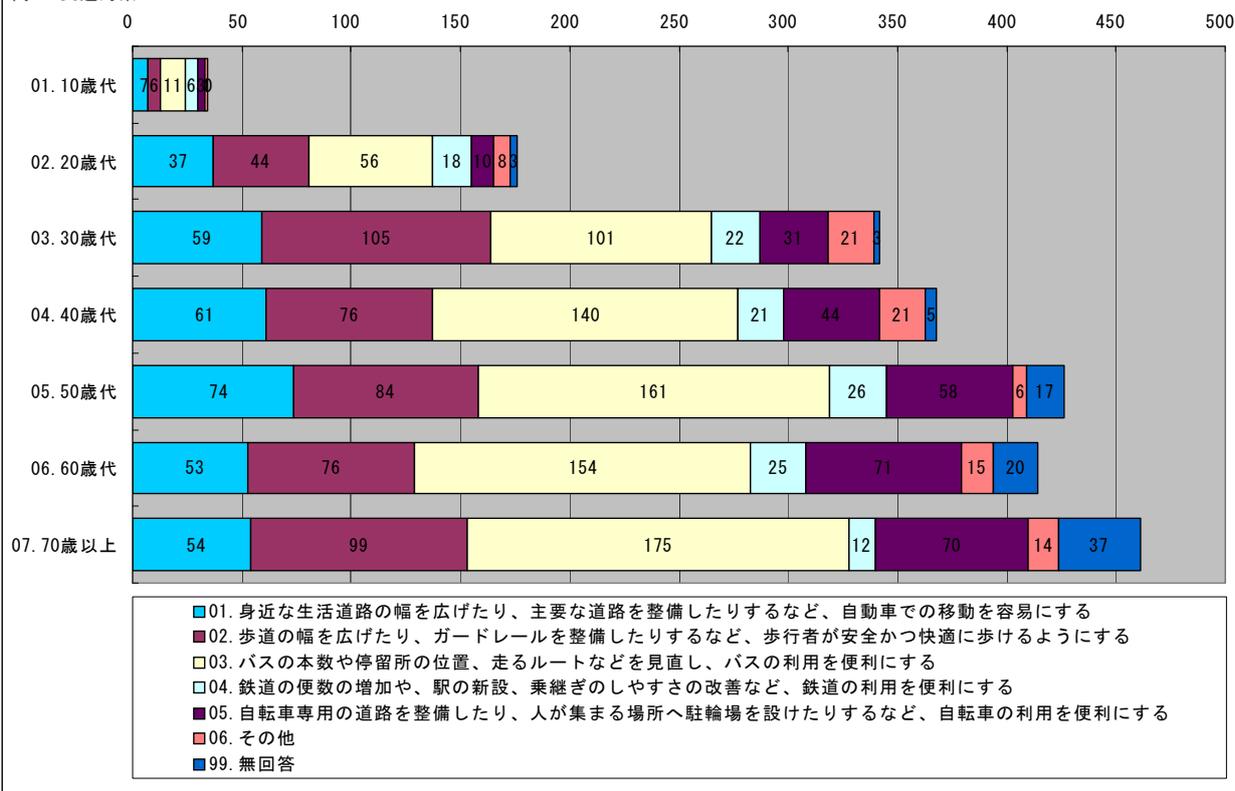


(2) 年齢別の傾向

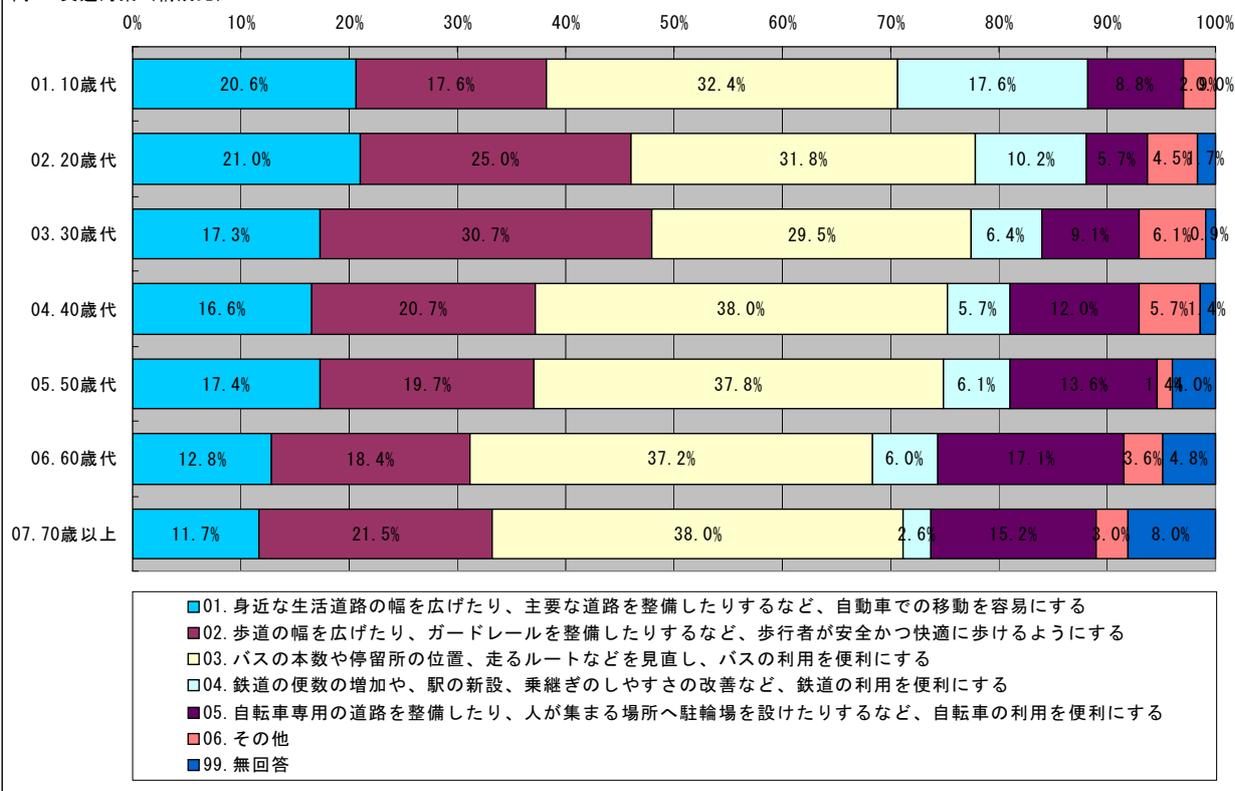
年齢別に見ると、「01. 身近な生活道路の幅を広げたり、主要な道路を整備したりするなど、自動車での移動を容易にする」や「04. 鉄道の便数の増加や、駅の新設、乗継ぎのしやすさの改善など、鉄道の利用を便利にする」は、年齢が若くなるほど選択する人の割合が高くなっています。

逆に、「03. バスの本数や停留所の位置、走るルートなどを見直し、バスの利用を便利にする」や「05. 自転車専用の道路を整備したり、人が集まる場所へ駐輪場を設けたりするなど、自転車の利用を便利にする」は、高齢になるほど選択する人の割合が高くなっています。

問10. 交通対策



問10. 交通対策（構成比）

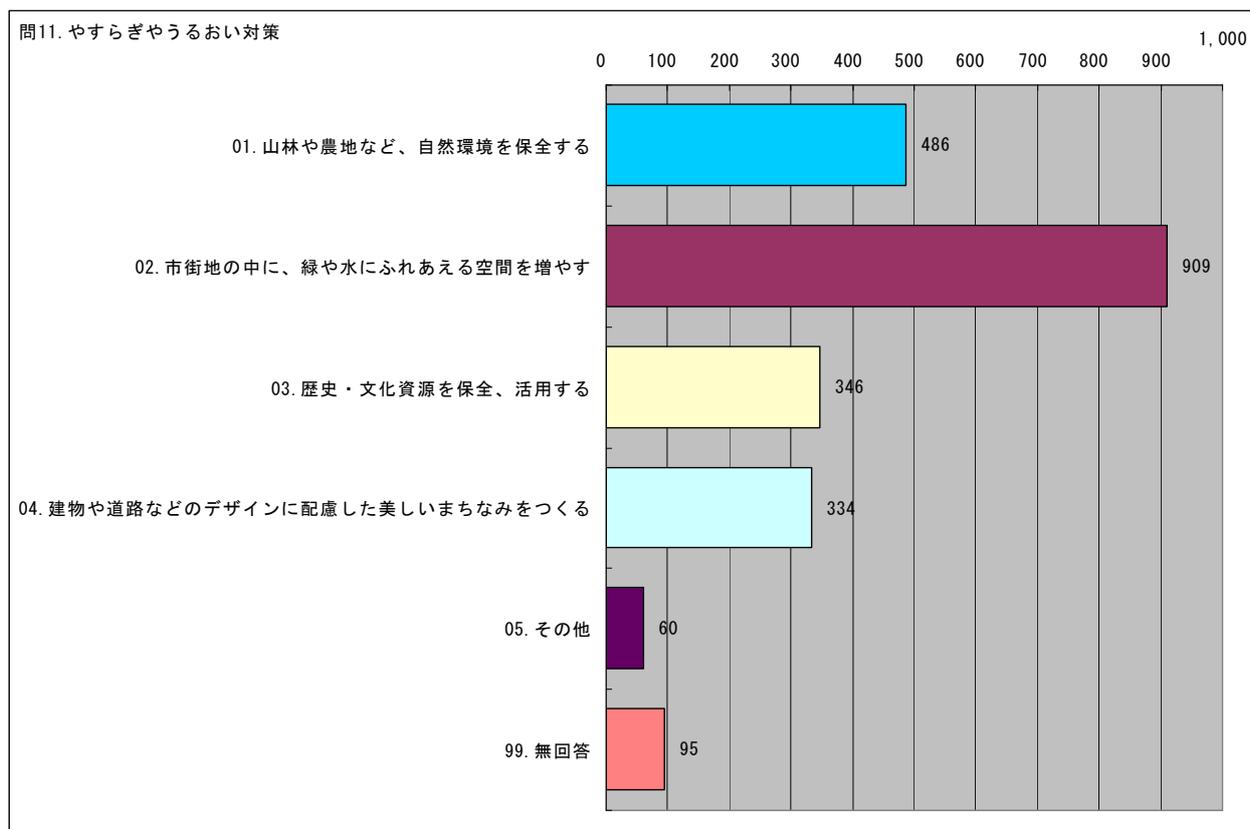


問 11：やすらぎや、うるおいの感じられるまちづくりについて、どのようなことに取り組むべきだと考えますか。（1つ選択）

### (1) 全体の傾向

やすらぎや、うるおいの感じられるまちづくりについては、「02. 市街地の中に、緑や水にふれあえる空間を増やす」を選択する方が最も多く、40.8%を締めています。

次いで、「01. 山林や農地など、自然環境を保全する」、「03. 歴史・文化資源を保全、活用する」、「04. 建物や道路などのデザインに配慮した美しいまちなみをつくる」の順で多くなっています。

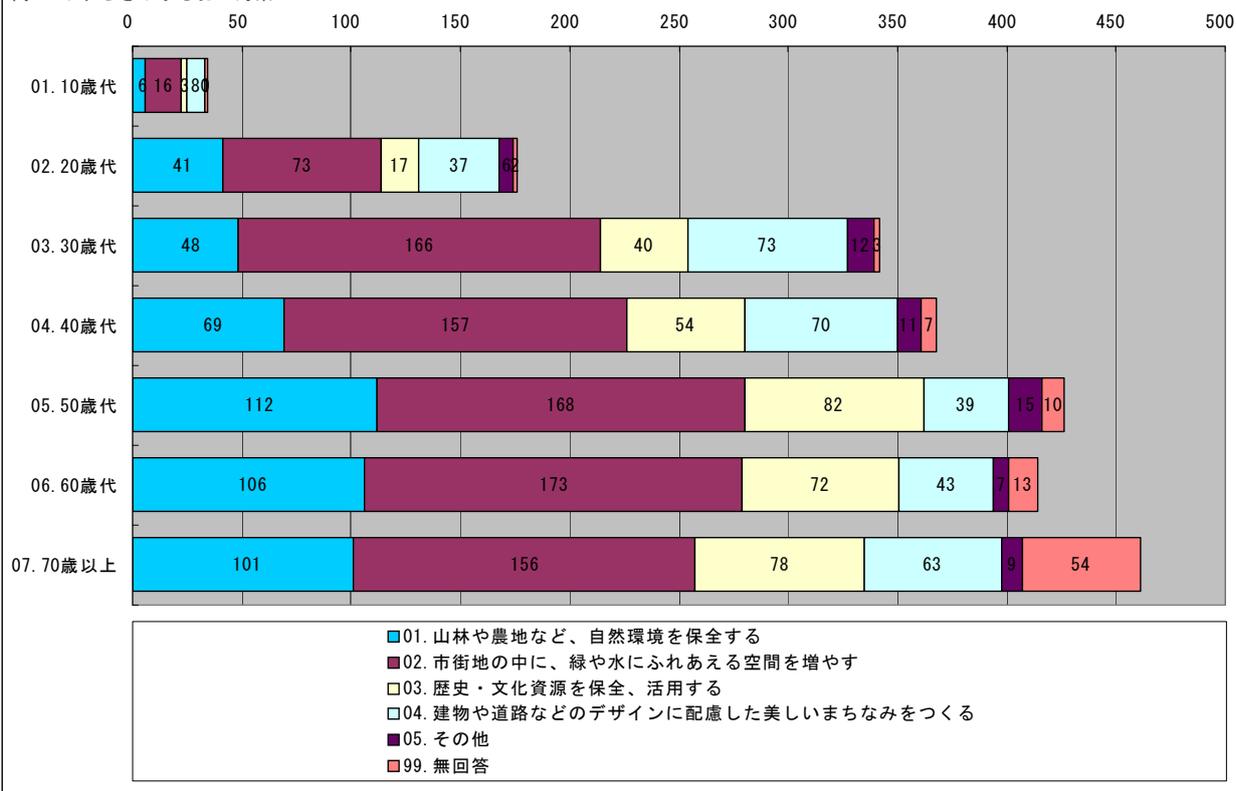


### (2) 年齢別の傾向

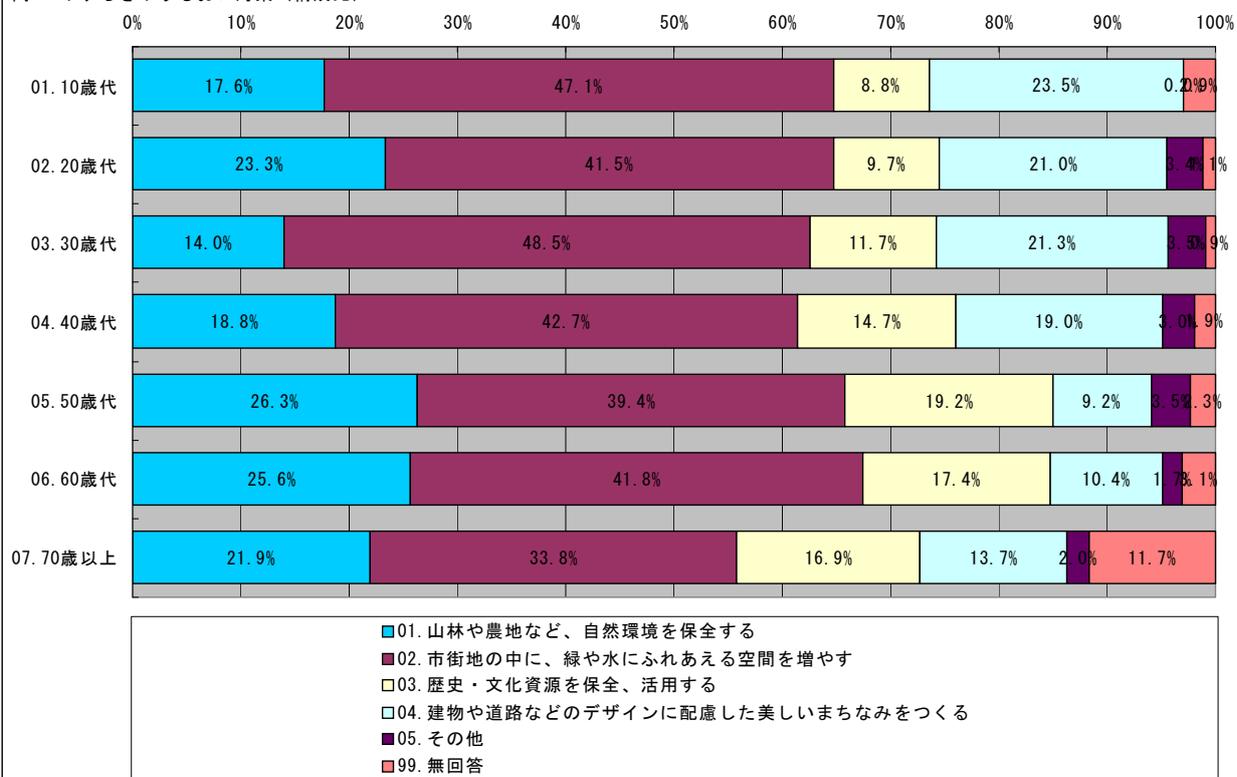
年齢別に見ると、「04. 建物や道路などのデザインに配慮した美しいまちなみをつくる」は、年齢が若くなるほど選択する人の割合が高くなっています。

逆に、「03. 歴史・文化資源を保全、活用する」は、高齢になるほど選択する人の割合が高くなっています。

問11. やすらぎやうるおい対策



問11. やすらぎやうるおい対策（構成比）

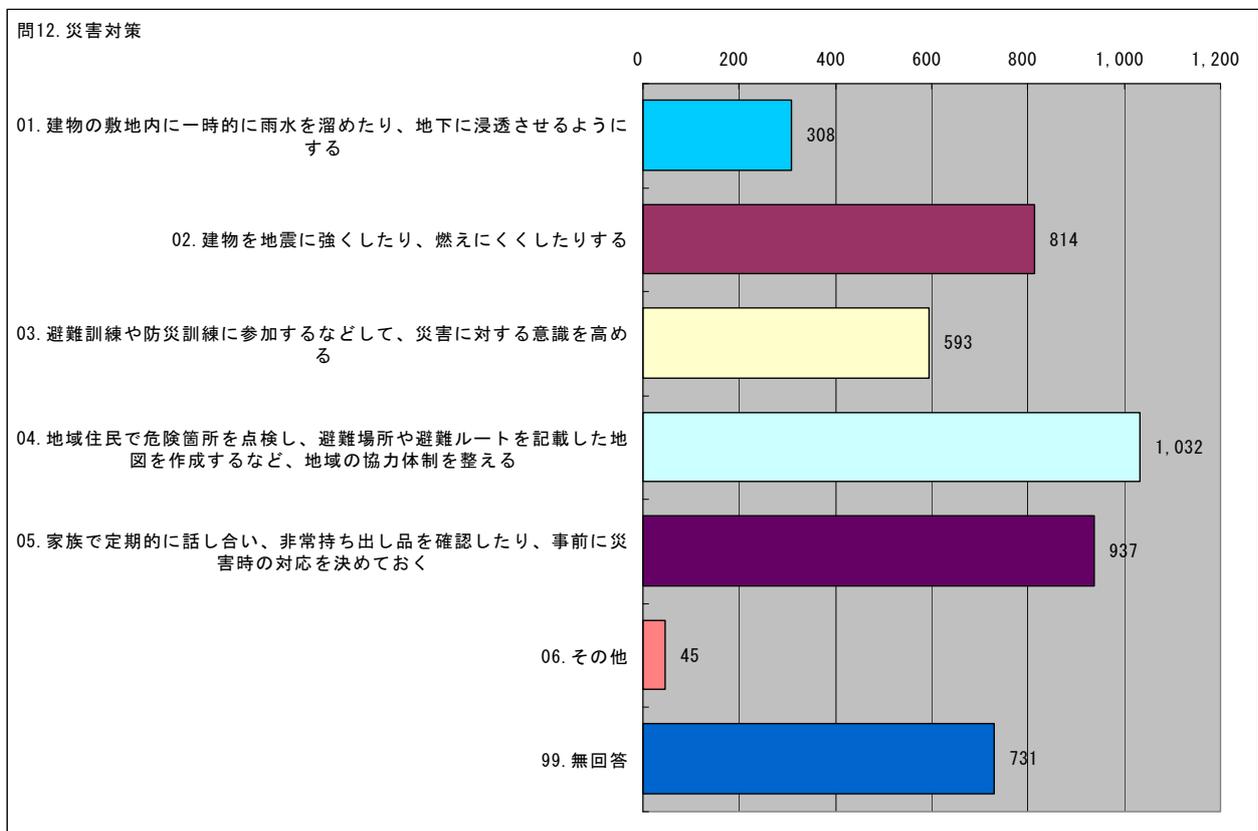


問 12：災害に強いまちづくりを進めていく上では、河川の改修や避難所の整備など、公共事業を行うことで絶対に大丈夫ということは困難です。  
 災害を軽減するために市民の皆様はどのようなことに取り組むべきだと考えますか。（2つまで選択）

(1) 全体の傾向

災害対策については、「04. 地域住民で危険箇所を点検し、避難場所や避難ルートに記載した地図を作成するなど、地域の協力体制を整える」、「05. 家族で定期的話し合い、非常持ち出し品を確認したり、事前に災害時の対応を決めておく」の順で多く、いずれも4割以上の方が選択しています。

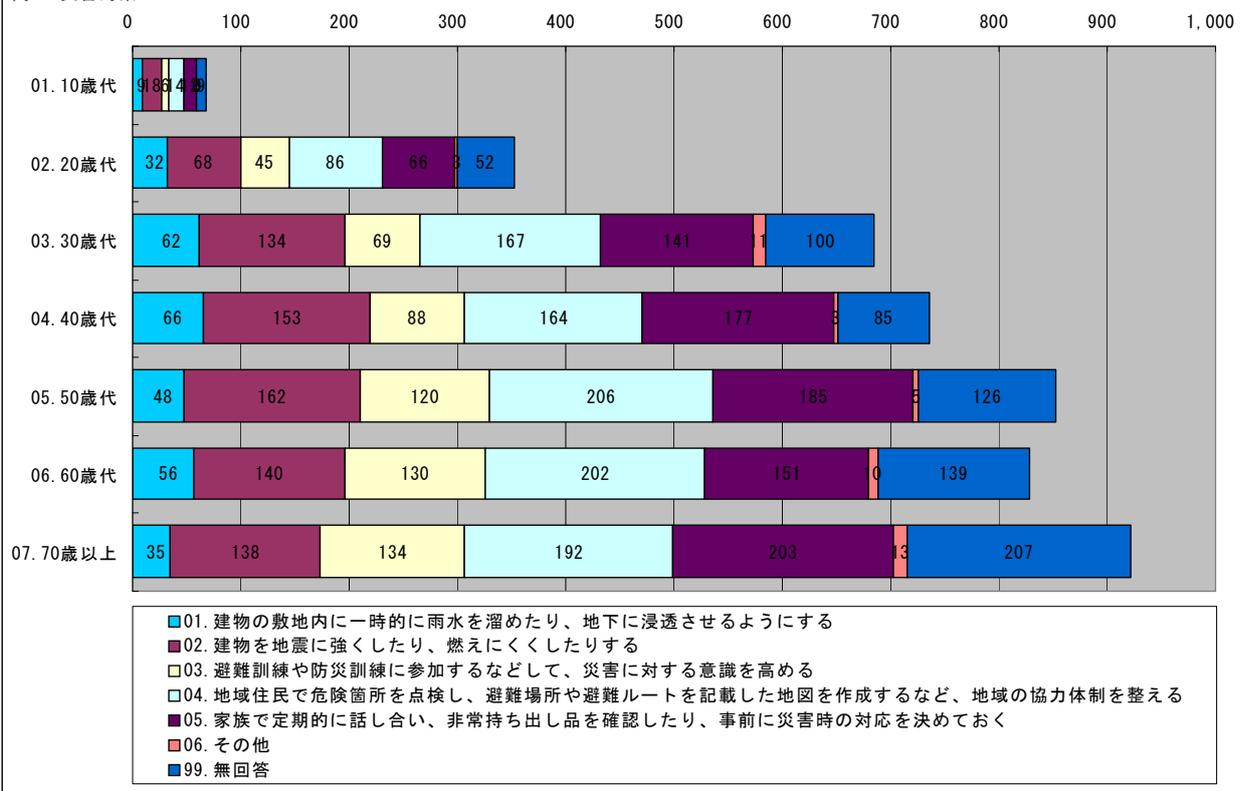
次いで、「02. 建物を地震に強くしたり、燃えにくくしたりする」、「03. 避難訓練や防災訓練に参加するなどして、災害に対する意識を高める」の順で多くなっています。



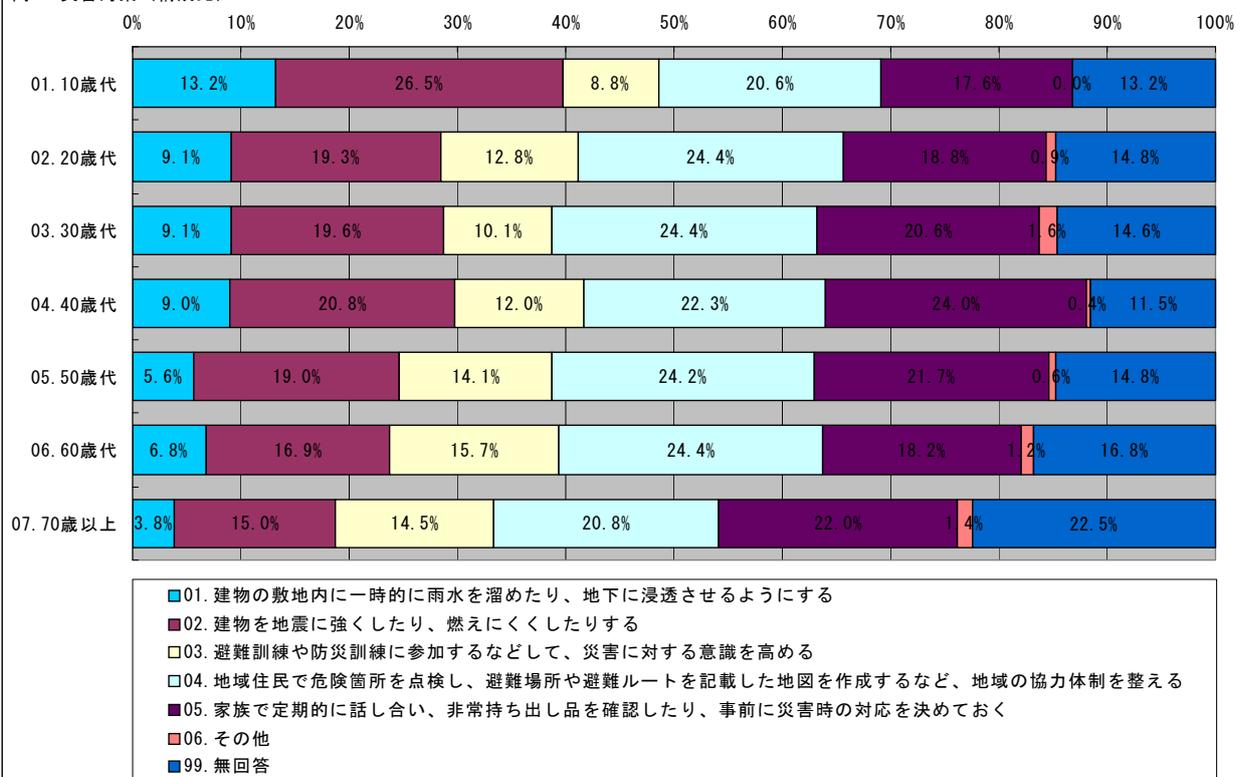
(2) 年齢別の傾向

年齢別に見ると、「01. 建物の敷地内に一時的に雨水を溜めたり、地下に浸透させるようにする」、「02. 建物を地震に強くしたり、燃えにくくしたりする」は、年齢が若くなるほど選択する人の割合が高くなっています。

問12. 災害対策



問12. 災害対策（構成比）

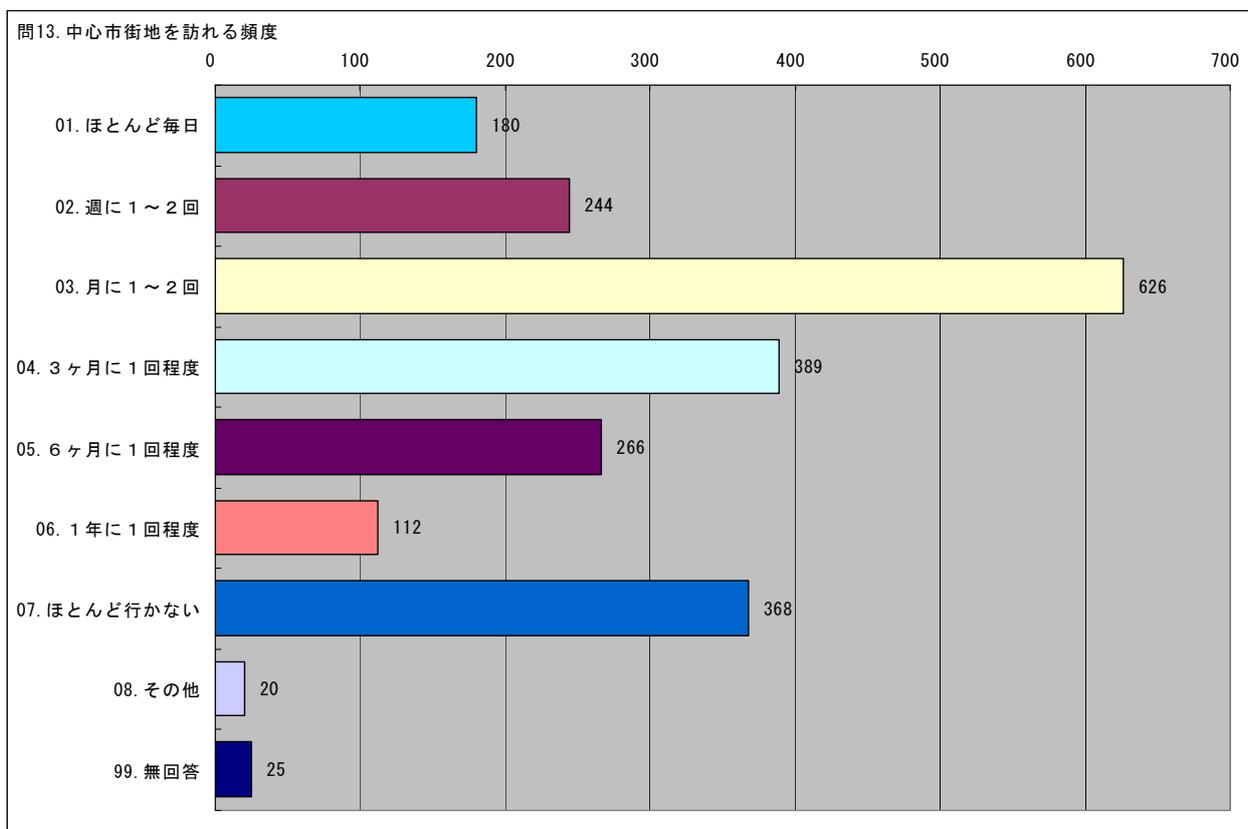


### 3. 福井市の中心部について、お聞かせください。

問 13: 現在、JR福井駅を中心とした福井市の中心市街地には、どのくらいの割合で訪れますか。(1つ選択)

#### (1) 全体の傾向

中心市街地を訪れる頻度は、「03.月に1～2回」を選択する方が最も多く、約3割を占めています。次いで、「04.3ヶ月に1回程度」となっていますが、「07.ほとんど行かない」を選択する方も同程度となっています。

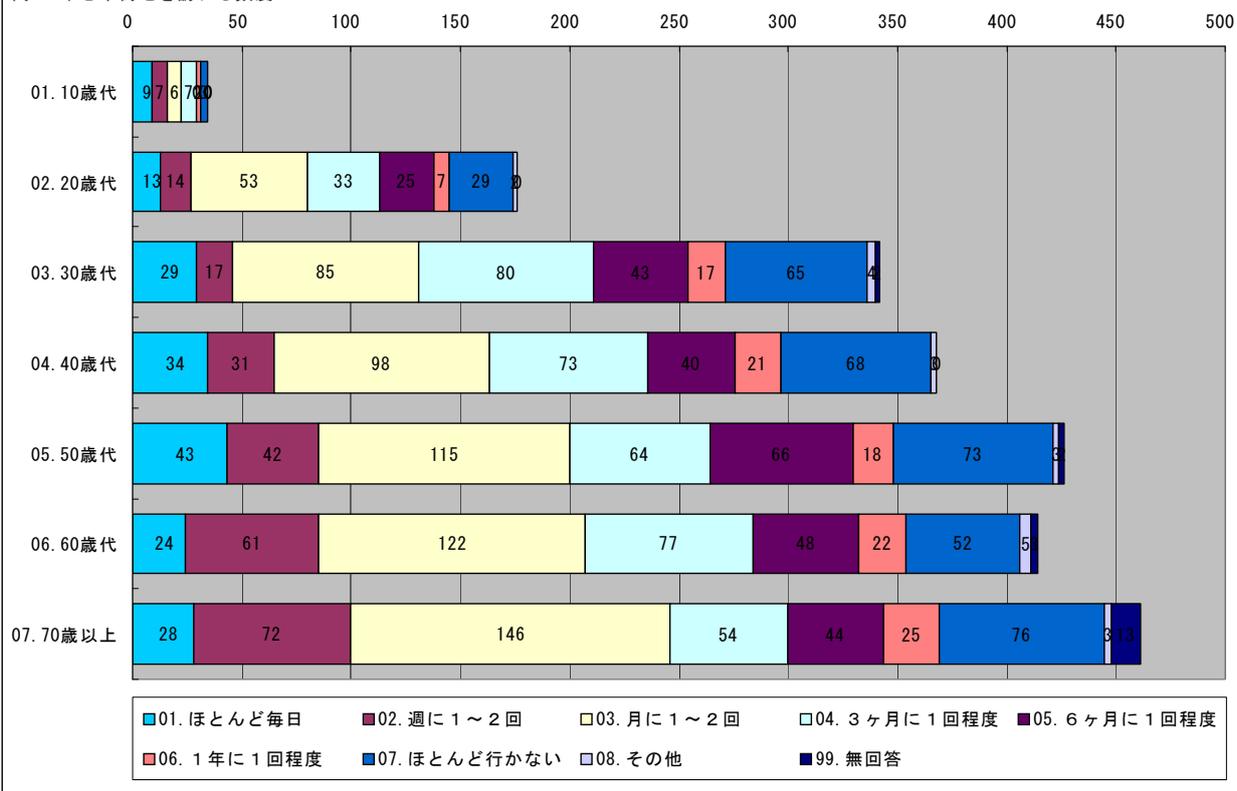


#### (2) 年齢別の傾向

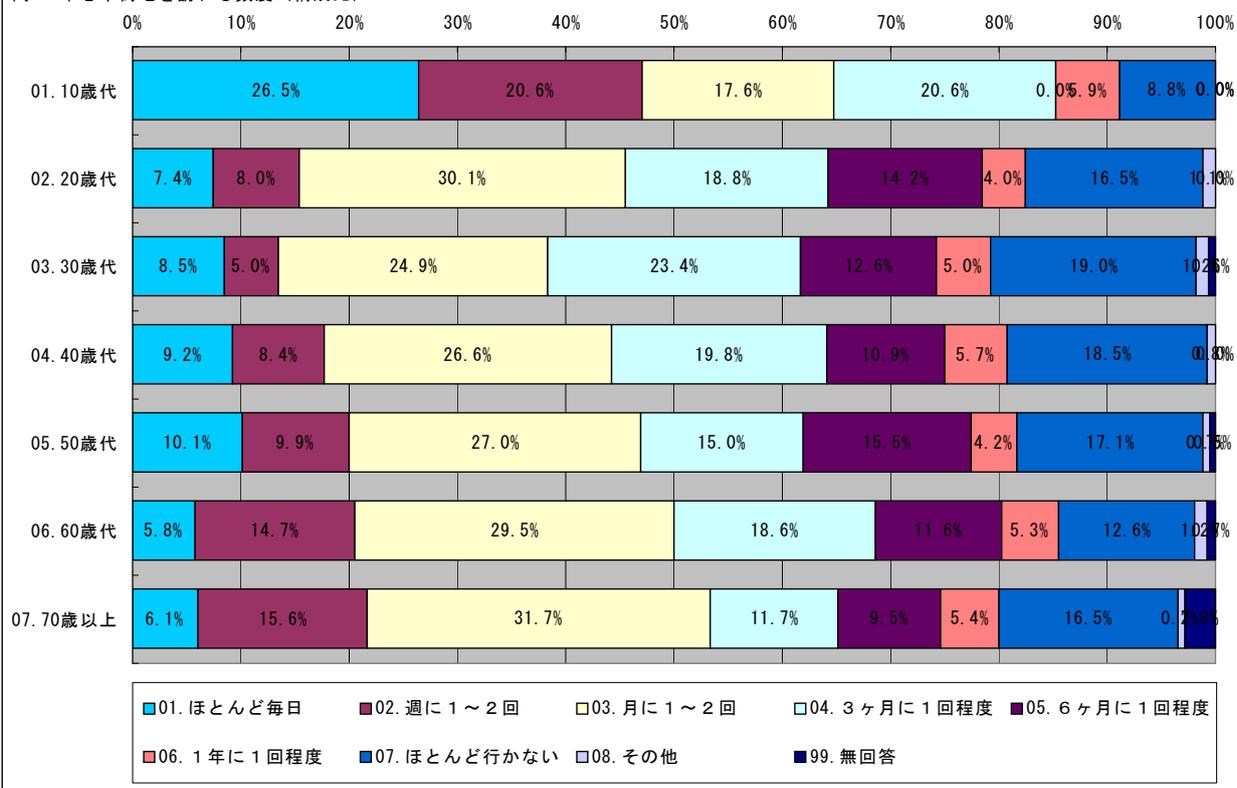
年齢別に見ると、10歳代では「01.ほとんど毎日」、「02.週に1～2回」を合わせると47.1%の方が訪れています。

20歳代になると両方合わせて約15%にまで少なくなり、高齢になるに従い、約20%にまで高くなっています。

問13. 中心市街地を訪れる頻度



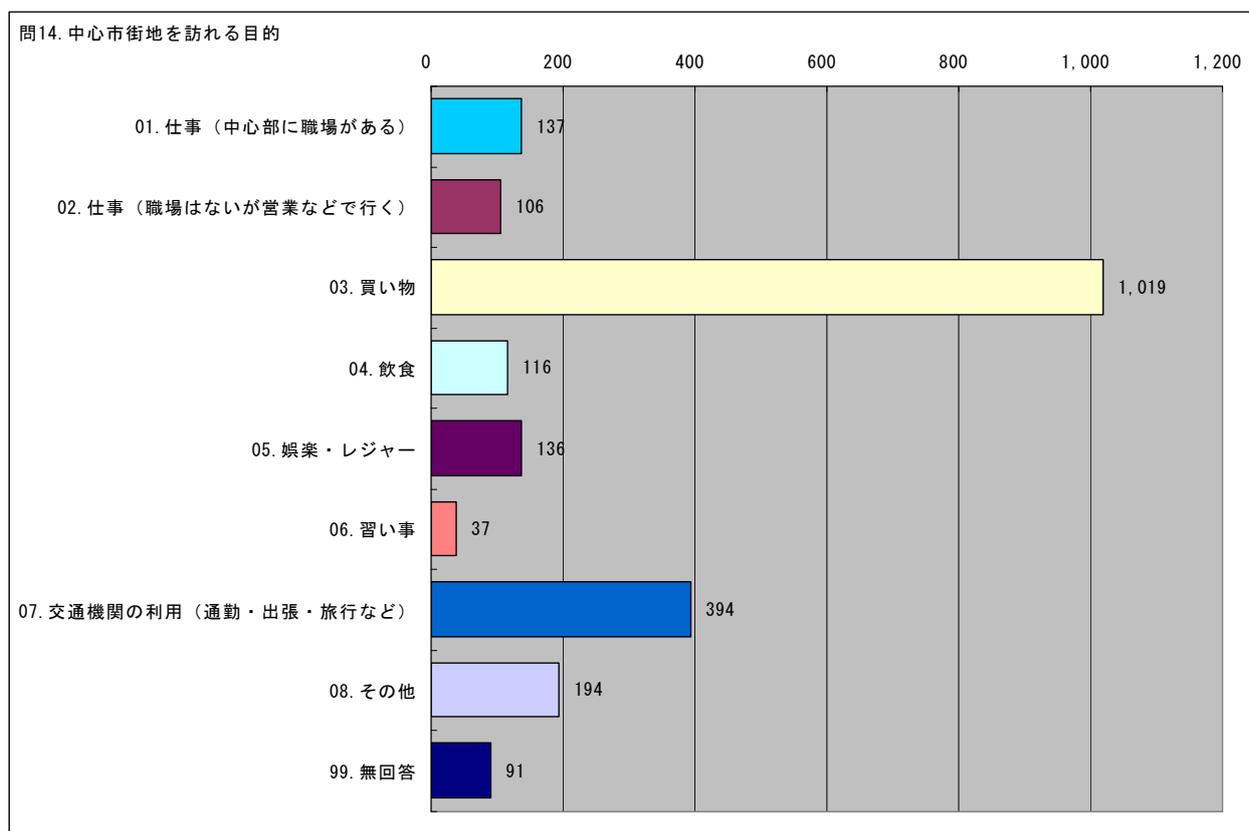
問13. 中心市街地を訪れる頻度（構成比）



問 14： 中心市街地に訪れる主な目的は何ですか。（1つ選択）

(1) 全体の傾向

中心市街地を訪れる目的については、「03. 買い物」が最も多く、45.7%の方が選択しています。次いで、「07. 交通機関の利用（通勤・出張・旅行など）」（17.7%）が多くなっていますが、他は10%を下回っています。

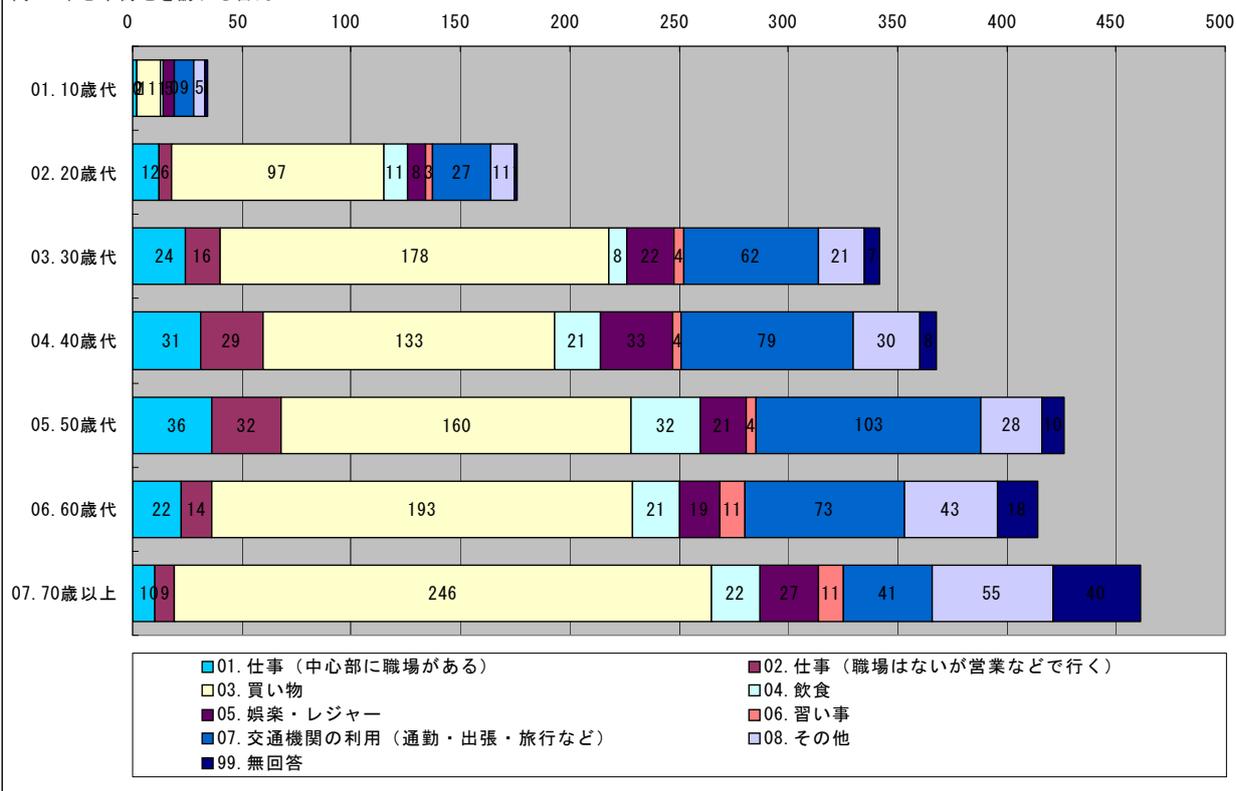


(2) 年齢別の傾向

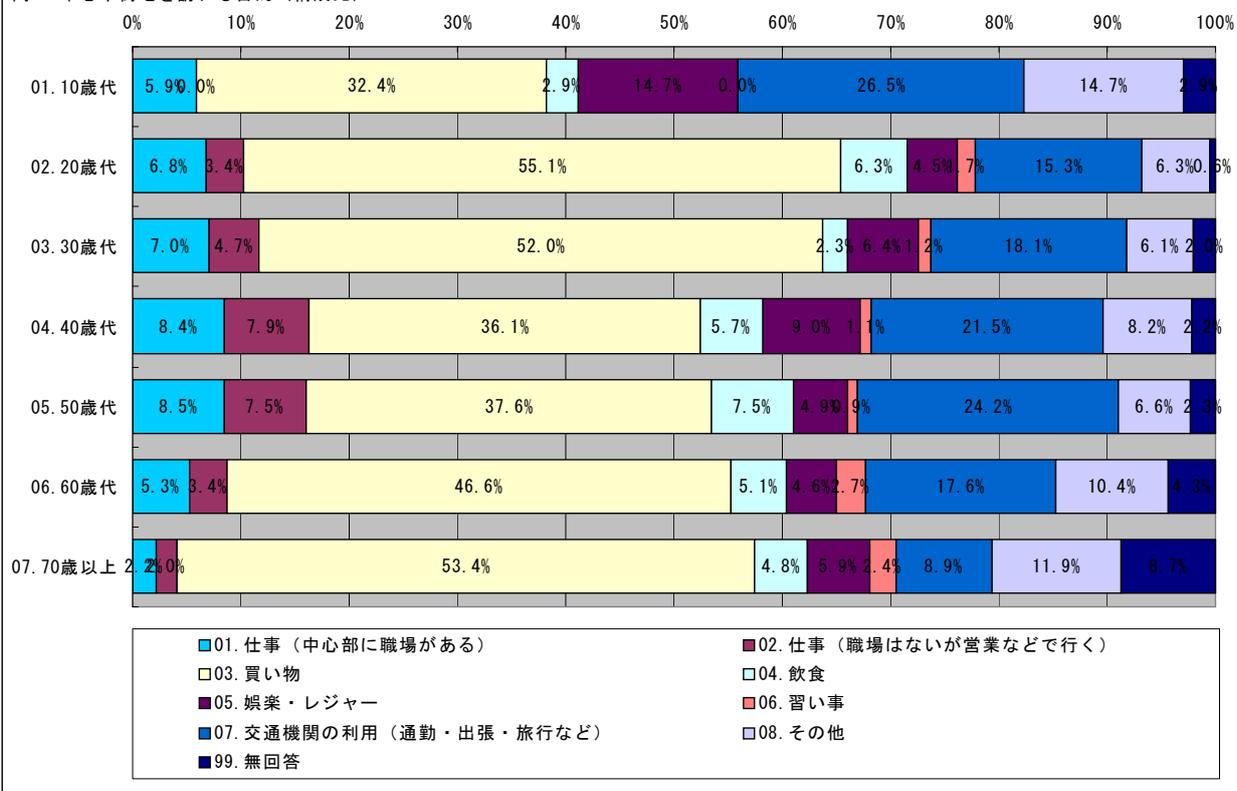
年齢別に見ると、10歳代は他の年代に比較して「05. 娯楽・レジャー」や「07. 交通機関の利用（通勤・出張・旅行など）」を選択する割合が高くなっていますが、「03. 買い物」の割合は全年代の中で最も低くなっています。

10歳代以外では、「03. 買い物」は40～50歳代でやや低くなっており、逆に「仕事」や「07. 交通機関の利用（通勤・出張・旅行など）」の割合が高くなっています。

問14. 中心市街地を訪れる目的



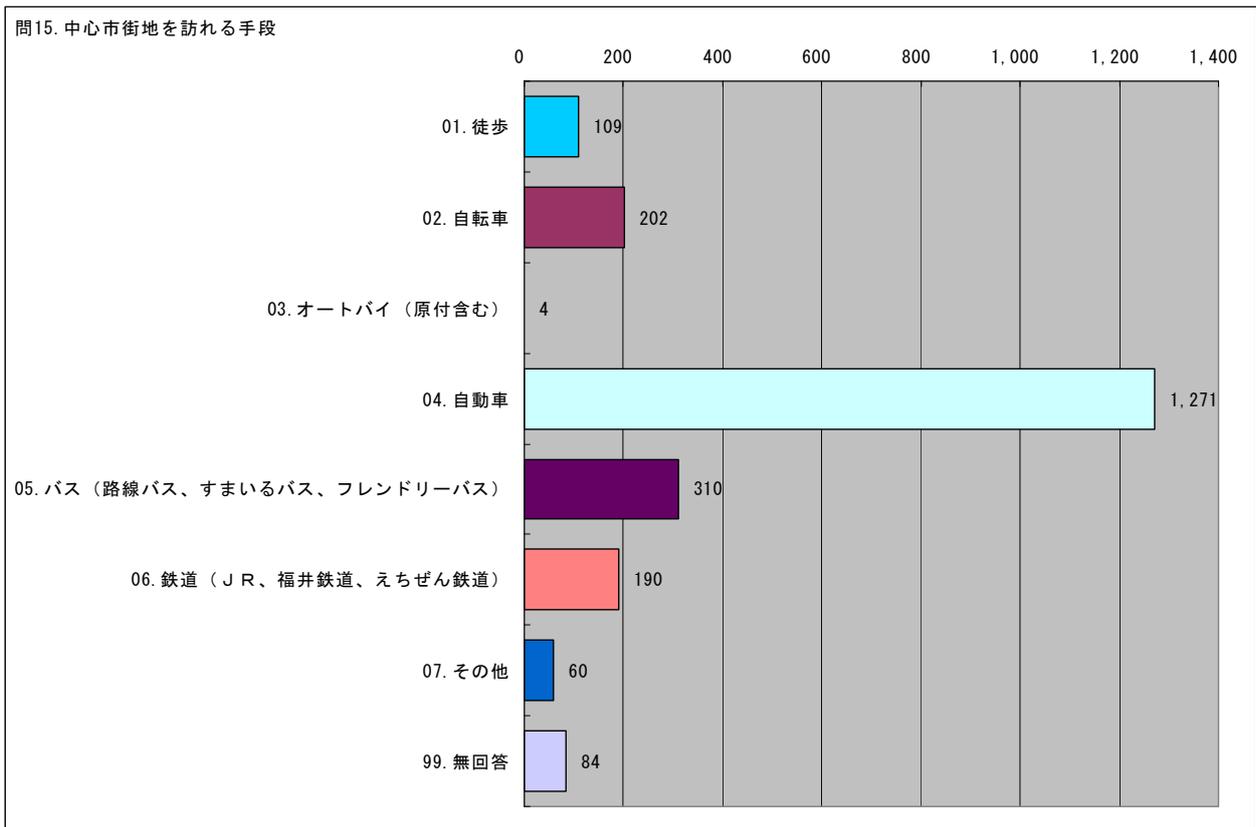
問14. 中心市街地を訪れる目的（構成比）



問 15： その場合（問 14 の目的）の主な交通手段は何ですか。（1つ選択）

(1) 全体の傾向

中心市街地を訪れる交通手段は、「04. 自動車」が最も多く、57.0%の方が選択しています。次いで、「05. バス（路線バス、すまいるバス、フレンドリーバス）」（13.9%）となっていますが、「06. 鉄道（JR、福井鉄道、えちぜん鉄道）」や「01. 徒歩」、「02. 自転車」は 10%を下回っています。

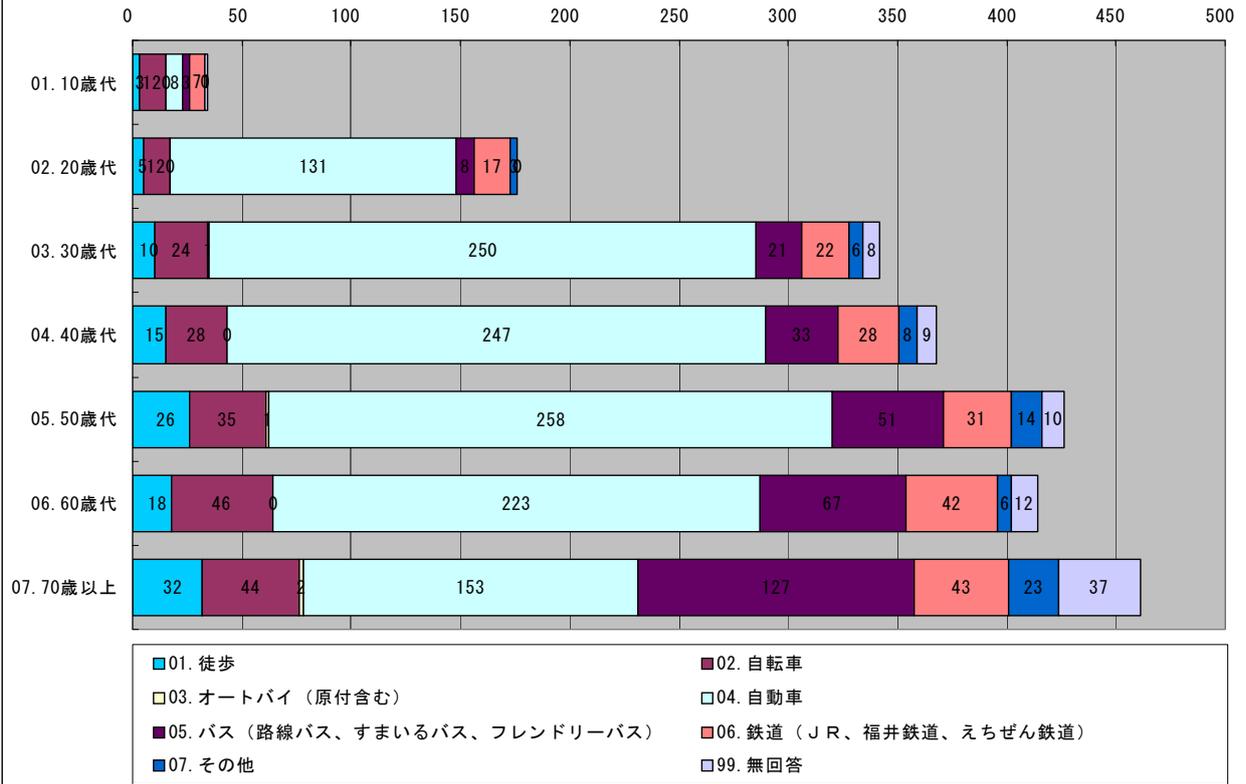


(2) 年齢別の傾向

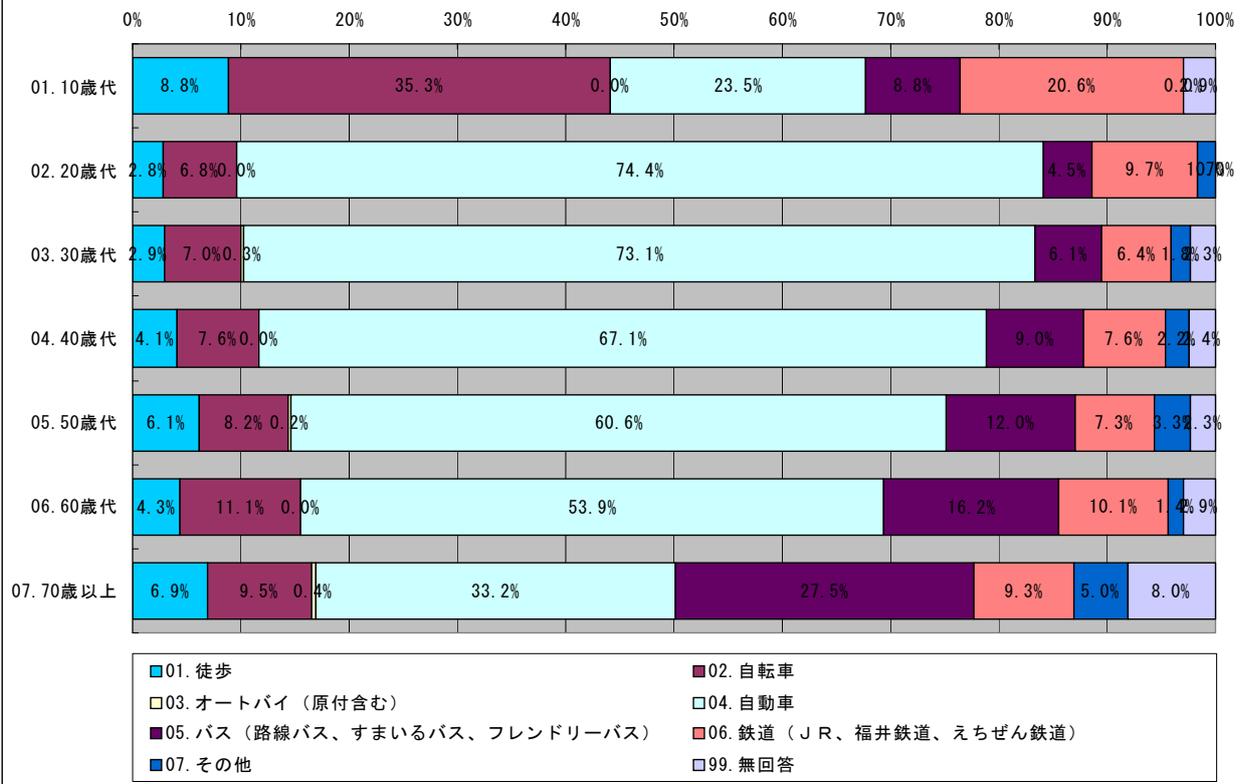
年齢別に見ると、10歳代では「04. 自動車」は 23.5%に留まり、「01. 徒歩」や「02. 自転車」が 44.1%、「06. 鉄道（JR、福井鉄道、えちぜん鉄道）」が 20.6%となっています。

他の年代では、高齢になるに従い、「04. 自動車」の割合は低くなり、「01. 徒歩」や「02. 自転車」、「05. バス（路線バス、すまいるバス、フレンドリーバス）」の割合が高くなっています。

問15. 中心市街地を訪れる手段



問15. 中心市街地を訪れる手段 (構成比)

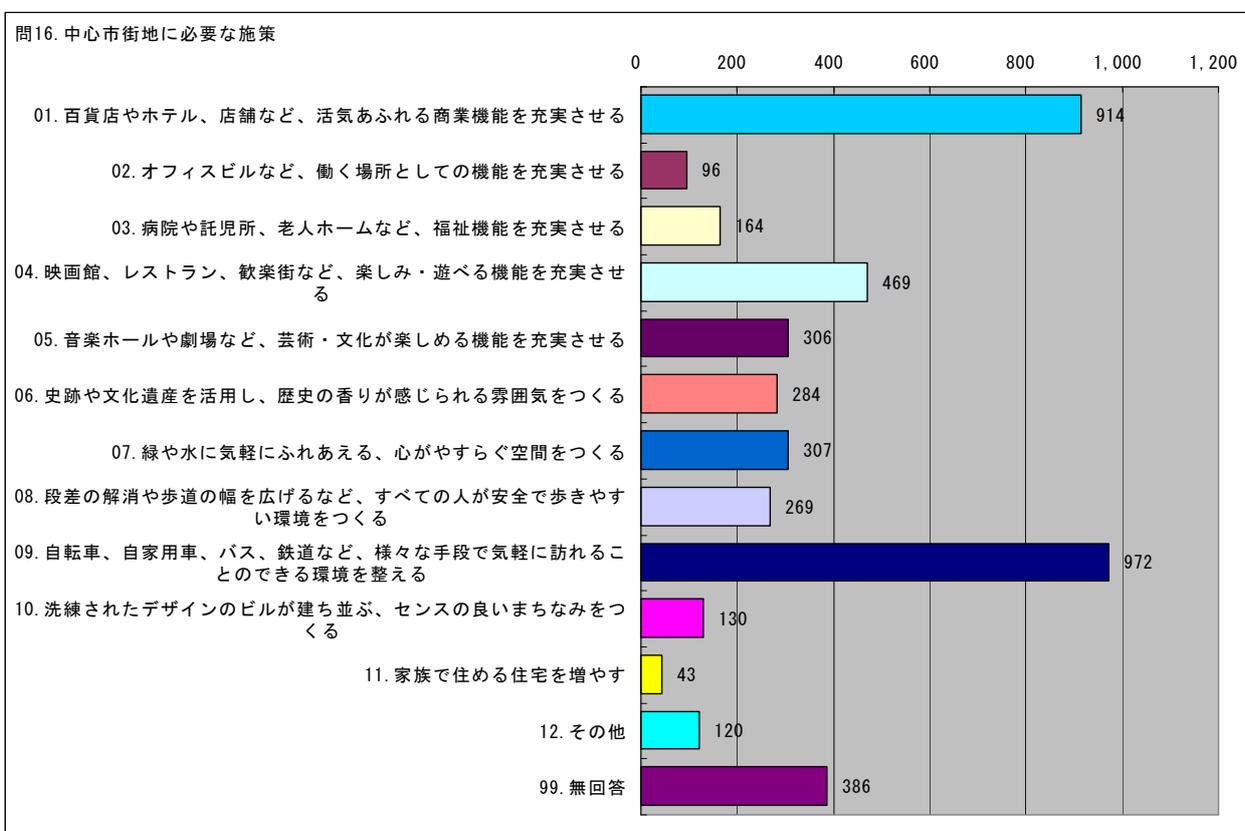


問 16：JR福井駅を中心とした福井市の中心市街地について、今後、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか。（2つまで選択）

### (1) 全体の傾向

中心市街地で取り組むべき施策については、「01.百貨店やホテル、店舗など、活気あふれる商業機能を充実させる」、「09.自転車、自家用車、バス、鉄道など、様々な手段で気軽に訪れることのできる環境を整える」を選択する方が多く、いずれも4割を超えています。

次いで、「04.映画館、レストラン、歓楽街など、楽しみ・遊べる機能を充実させる」、「07.緑や水に気軽にふれあえる、心がやすらぐ空間をつくる」、「05.音楽ホールや劇場など、芸術・文化が楽しめる機能を充実させる」の順で多くなっています。

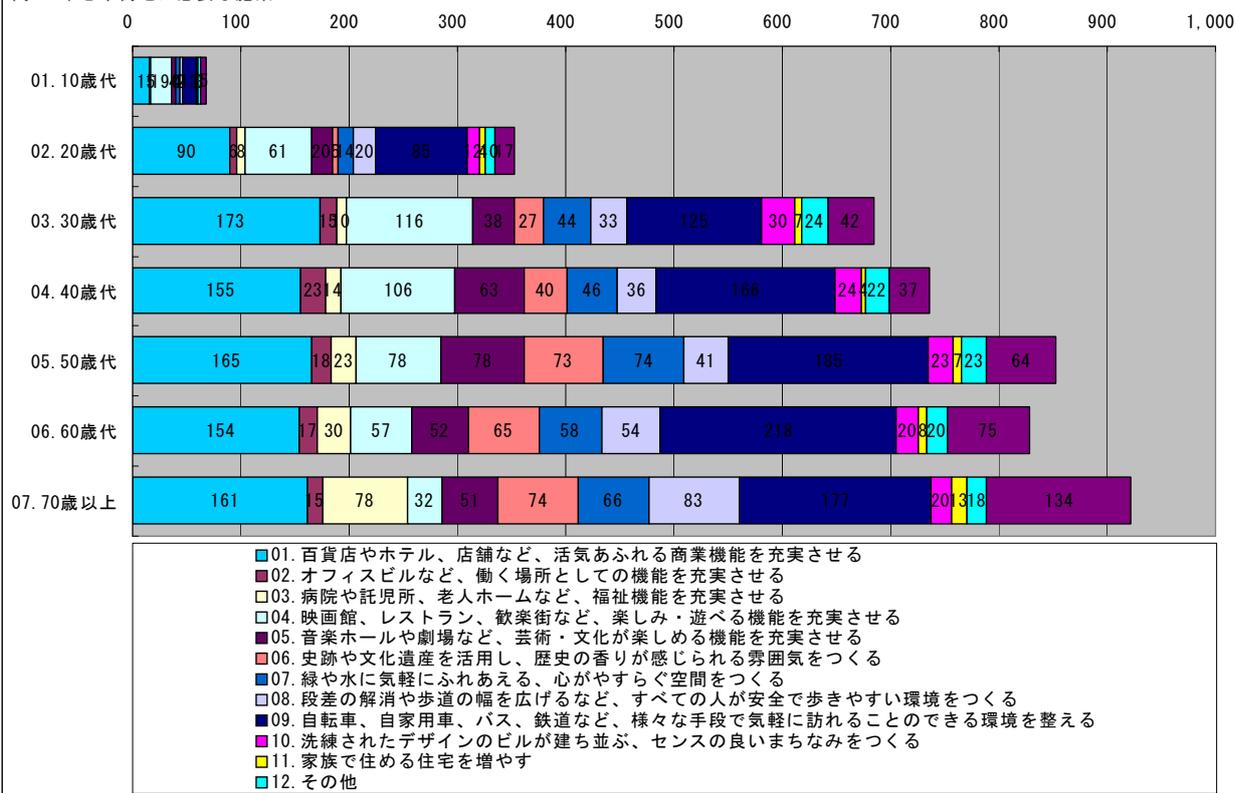


### (2) 年齢別の傾向

年齢別に見ると、「01.百貨店やホテル、店舗など、活気あふれる商業機能を充実させる」や「04.映画館、レストラン、歓楽街など、楽しみ・遊べる機能を充実させる」は、年齢が若くなるに従い選択する割合が高くなっています。

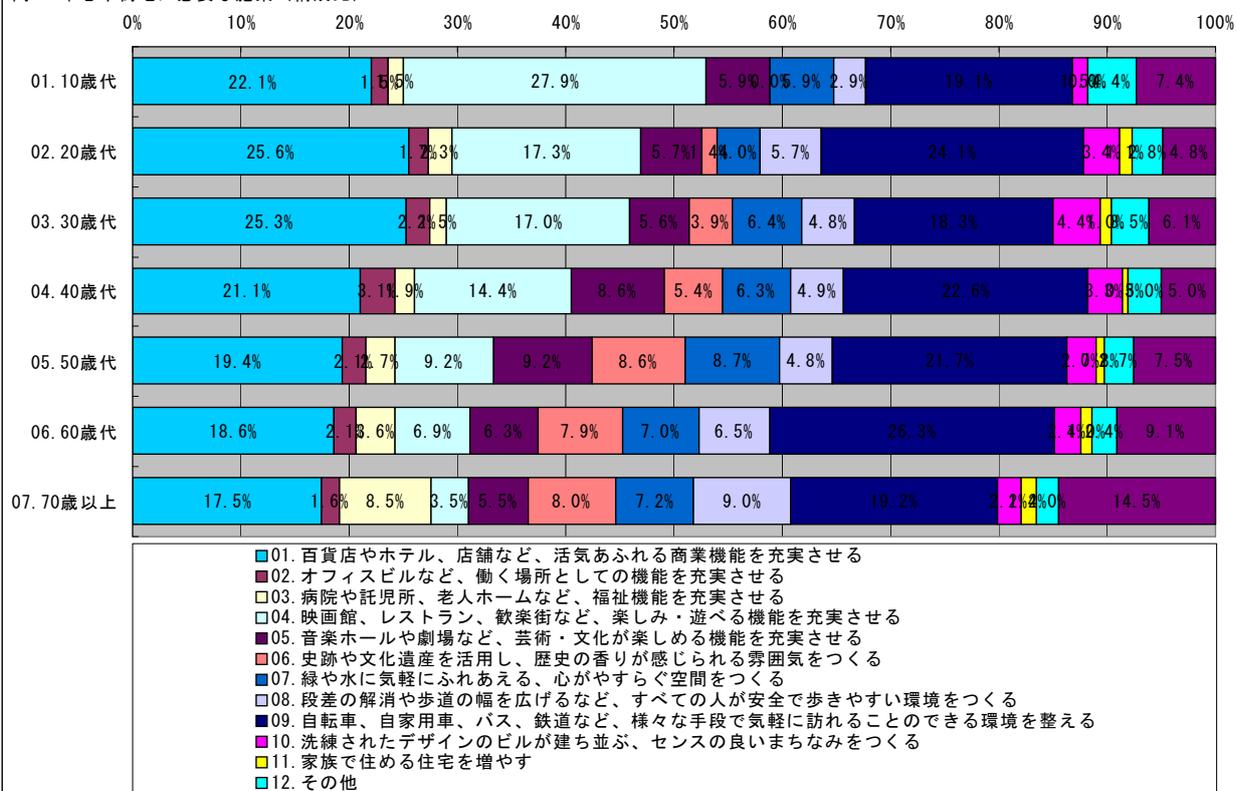
逆に、「05.音楽ホールや劇場など、芸術・文化が楽しめる機能を充実させる」や「06.史跡や文化遺産を活用し、歴史の香りが感じられる雰囲気をつくる」は、高齢になるに従い選択する割合が高くなっています。

問16. 中心市街地に必要な施策



- 01. 百貨店やホテル、店舗など、活気あふれる商業機能を充実させる
- 02. オフィスビルなど、働く場所としての機能を充実させる
- 03. 病院や託児所、老人ホームなど、福祉機能を充実させる
- 04. 映画館、レストラン、歓楽街など、楽しみ・遊べる機能を充実させる
- 05. 音楽ホールや劇場など、芸術・文化が楽しめる機能を充実させる
- 06. 史跡や文化遺産を活用し、歴史の香りが感じられる雰囲気をつくる
- 07. 緑や水に気軽にふれあえる、心がやすらぐ空間をつくる
- 08. 段差の解消や歩道の幅を広げるなど、すべての人が安全で歩きやすい環境をつくる
- 09. 自転車、自家用車、バス、鉄道など、様々な手段で気軽に訪れることのできる環境を整える
- 10. 洗練されたデザインのビルが建ち並び、センスの良いまちなみをつくる
- 11. 家族で住める住宅を増やす
- 12. その他

問16. 中心市街地に必要な施策（構成比）



- 01. 百貨店やホテル、店舗など、活気あふれる商業機能を充実させる
- 02. オフィスビルなど、働く場所としての機能を充実させる
- 03. 病院や託児所、老人ホームなど、福祉機能を充実させる
- 04. 映画館、レストラン、歓楽街など、楽しみ・遊べる機能を充実させる
- 05. 音楽ホールや劇場など、芸術・文化が楽しめる機能を充実させる
- 06. 史跡や文化遺産を活用し、歴史の香りが感じられる雰囲気をつくる
- 07. 緑や水に気軽にふれあえる、心がやすらぐ空間をつくる
- 08. 段差の解消や歩道の幅を広げるなど、すべての人が安全で歩きやすい環境をつくる
- 09. 自転車、自家用車、バス、鉄道など、様々な手段で気軽に訪れることのできる環境を整える
- 10. 洗練されたデザインのビルが建ち並び、センスの良いまちなみをつくる
- 11. 家族で住める住宅を増やす
- 12. その他

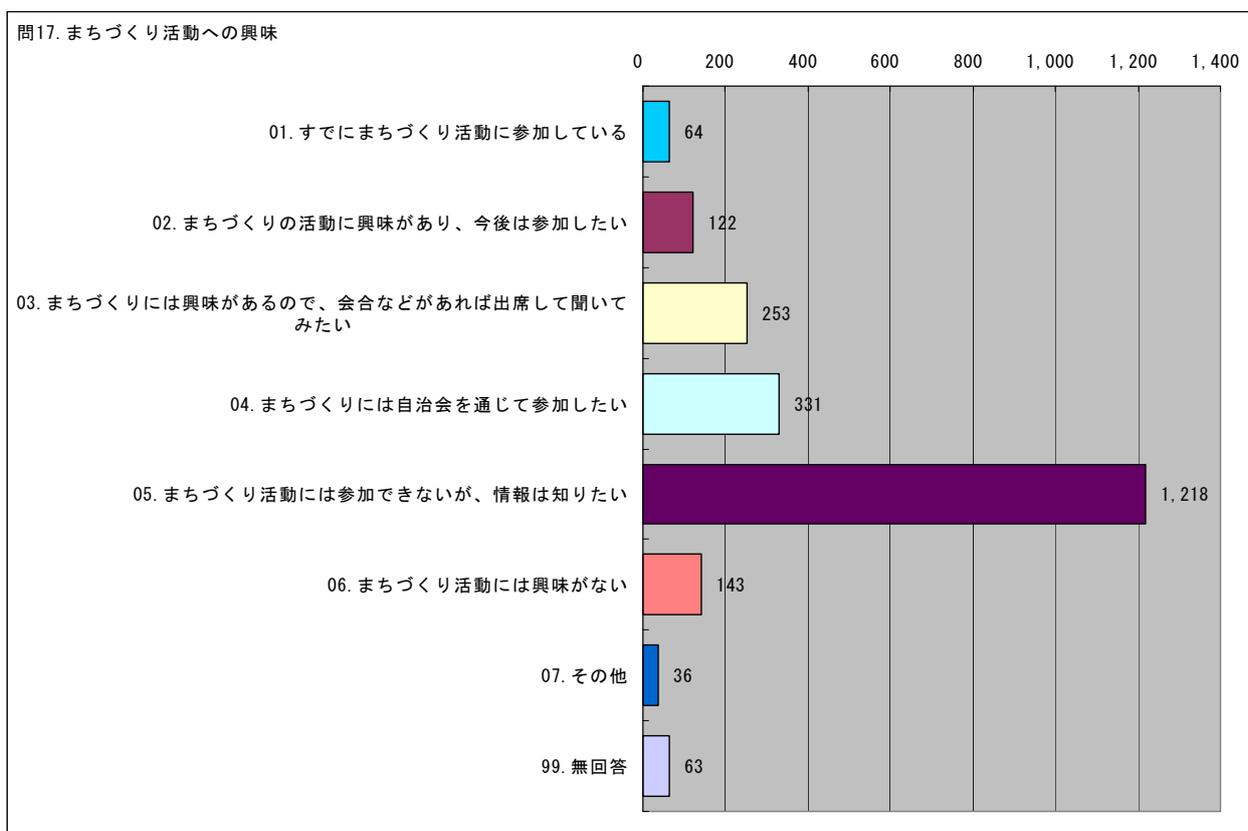
## 4. 市民のまちづくりへの参加について、お聞かせください。

### 問 17：まちづくりの活動に興味をお持ちですか。（1つ選択）

#### (1) 全体の傾向

まちづくり活動への興味は、「05. まちづくり活動には参加できないが、情報は知りたい」が最も多く、5割以上の方が選択しています。

しかし、「01. すでにまちづくり活動に参加している」、「02. まちづくりの活動に興味があり、今後は参加したい」を選択する割合は、非常に小さくなっています。

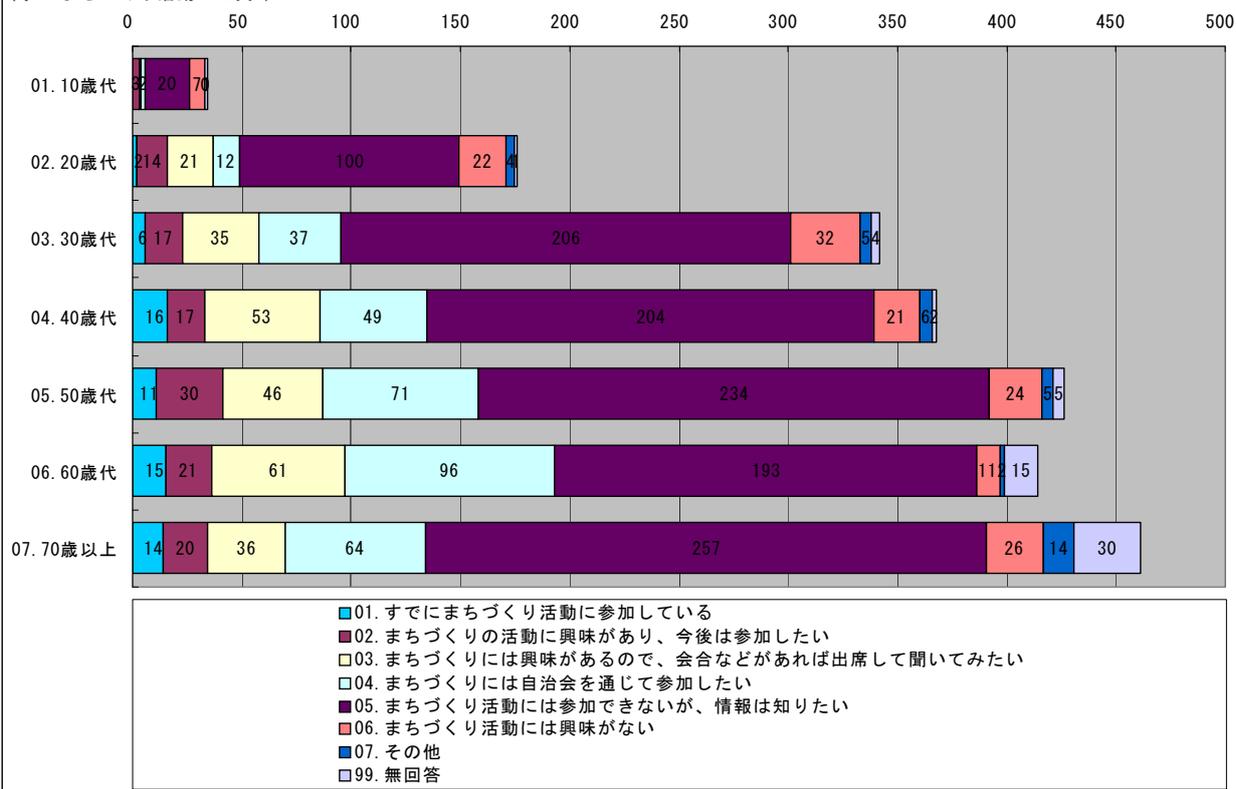


#### (2) 年齢別の傾向

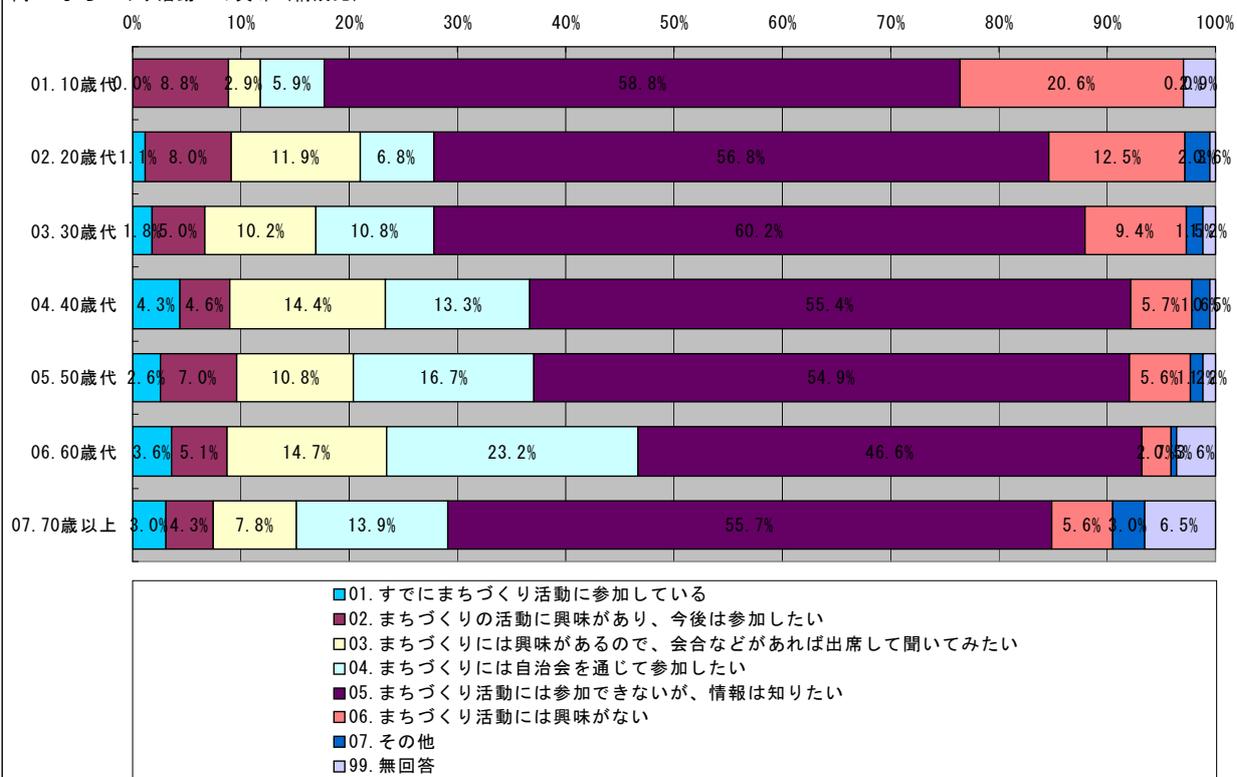
年齢別に見ると、高齢になるに従い、「03. まちづくりには興味があるので、会合などがあれば出席して聞いてみたい」や「04. まちづくりには自治会を通じて参加したい」を選択する割合が高くなっています。

逆に、「06. まちづくり活動には興味がない」を選択している方は、年代が若くなるに従い多くなっています。

問17. まちづくり活動への興味



問17. まちづくり活動への興味（構成比）

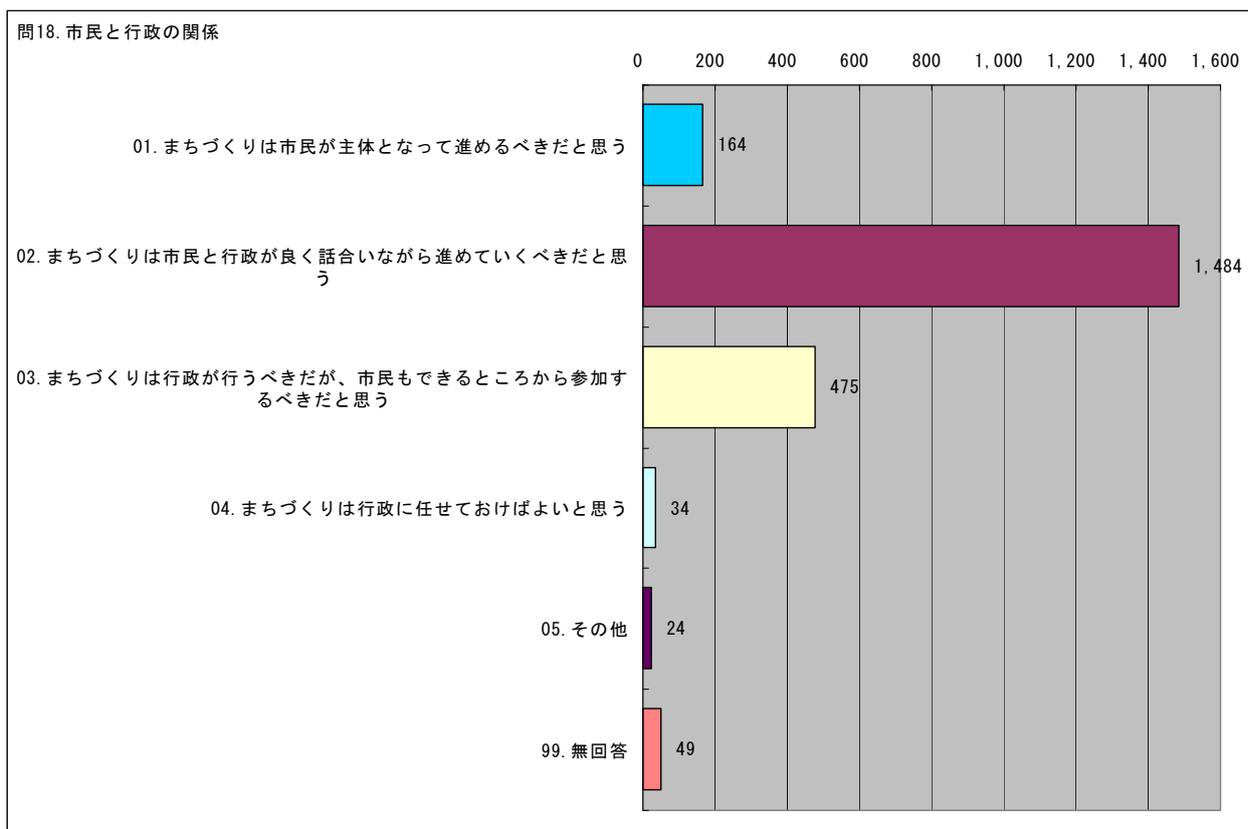


問 18：今後のまちづくりにおいて、市民の皆様と行政の関係はどうあるべきだと思いますか。（1つ選択）

(1) 全体の傾向

まちづくりにおける市民と行政の関係については、6割を超える方が「02. まちづくりは市民と行政が良く話し合いながら進めていくべきだと思う」を選択しています。

「01. まちづくりは市民が主体となって進めるべきだと思う」を選択する方は、7.4%に留まっています。

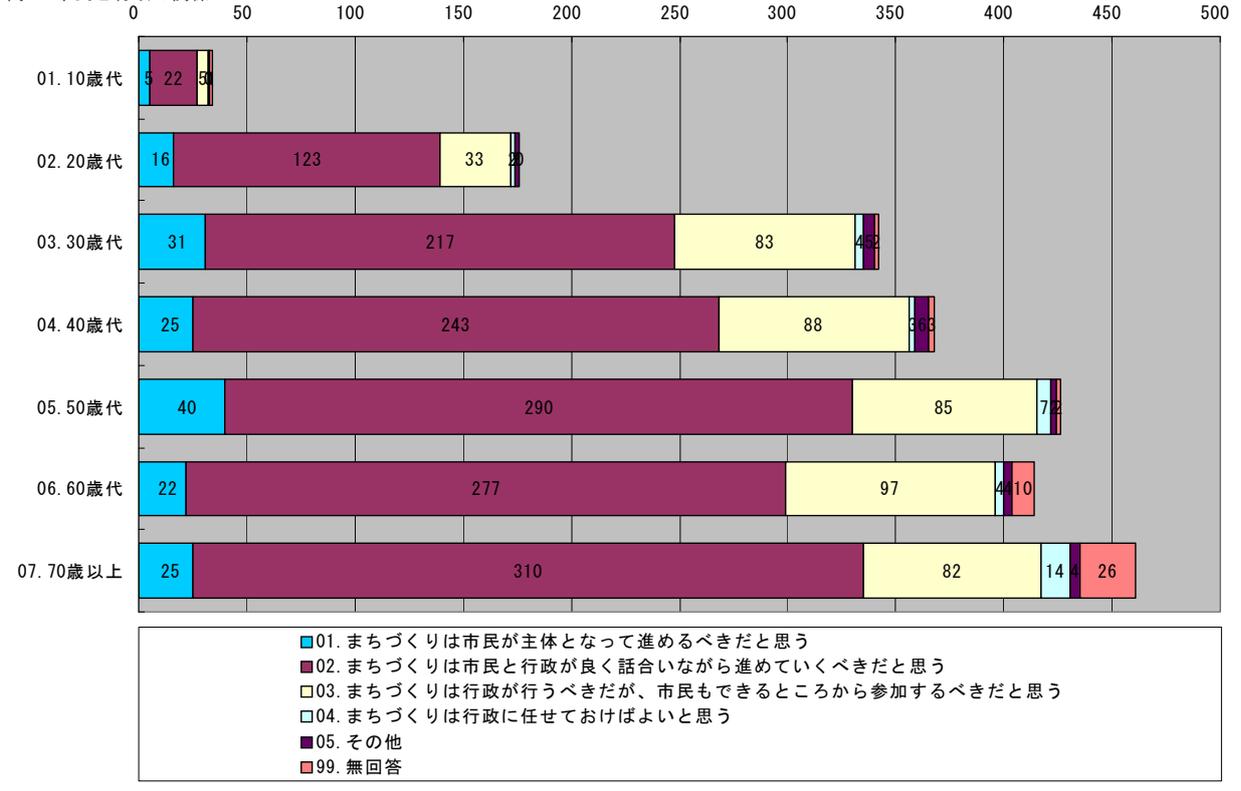


(2) 年齢別の傾向

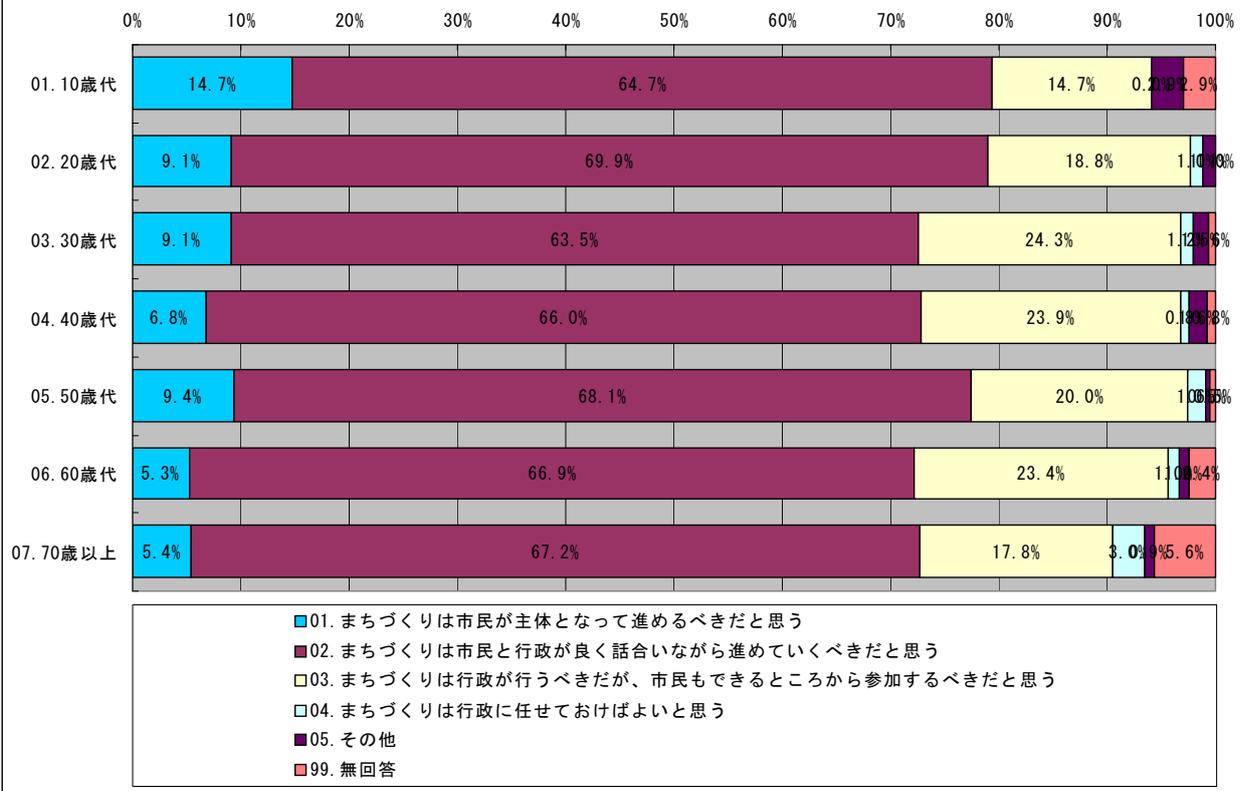
年齢別に見ると、どの年代も「02. まちづくりは市民と行政が良く話し合いながら進めていくべきだと思う」を選択する方が最も多くなっています。

「01. まちづくりは市民が主体となって進めるべきだと思う」を選択する方は、年代が若くなるに従い高くなる傾向にあります。

問18. 市民と行政の関係



問18. 市民と行政の関係（構成比）

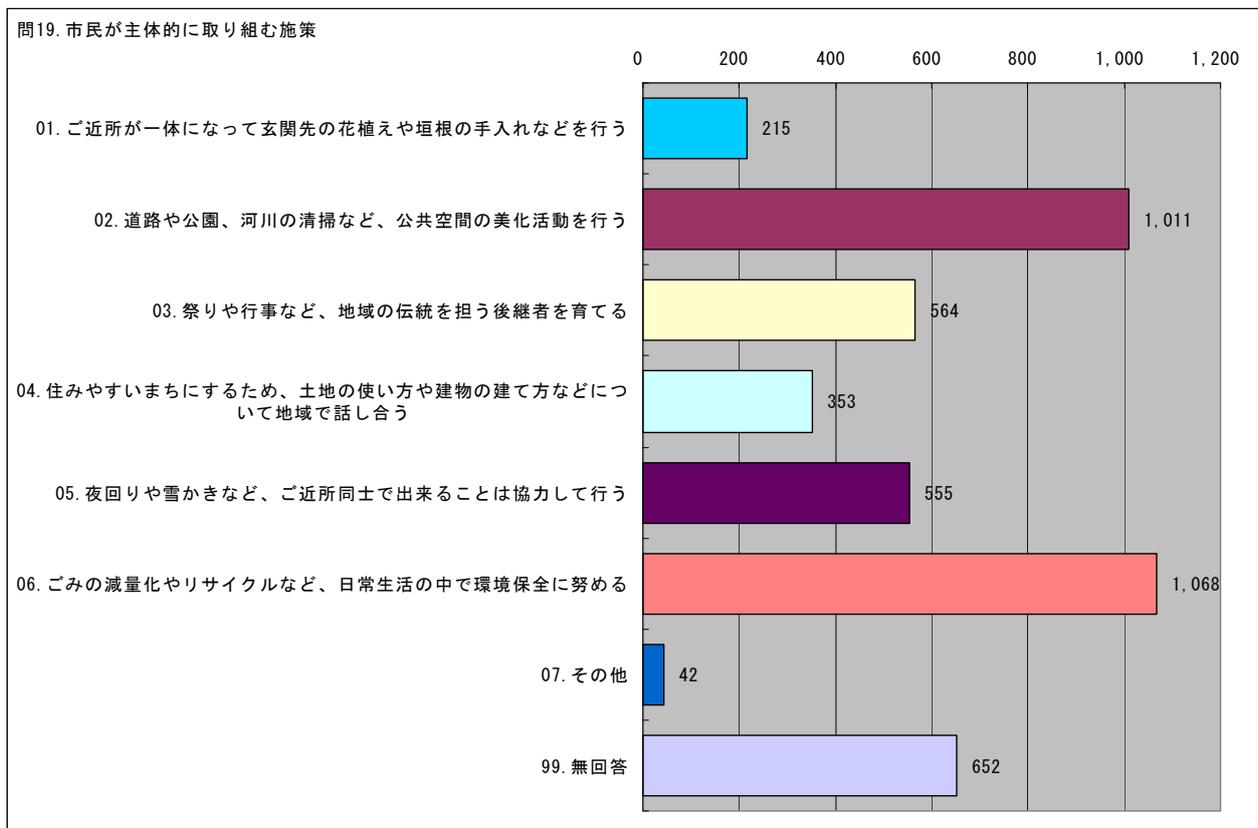


問 19：今後、市民参加によるまちづくりを進めていく上で、市民が主体的に取り組むべきことはどのようなことだと思いますか。（2つまで選択）

### (1) 全体の傾向

市民が主体的に取り組むべき施策については、「02. 道路や公園、河川の清掃など、公共空間の美化活動を行う」や「06. ごみの減量化やリサイクルなど、日常生活の中で環境保全に努める」を選択する方が多く、いずれも45%以上の方が選択しています。

次いで、「03. 祭りや行事など、地域の伝統を担う後継者を育てる」、「05. 夜回りや雪かきなど、ご近所同士で出来ることは協力して行う」の順となっています。

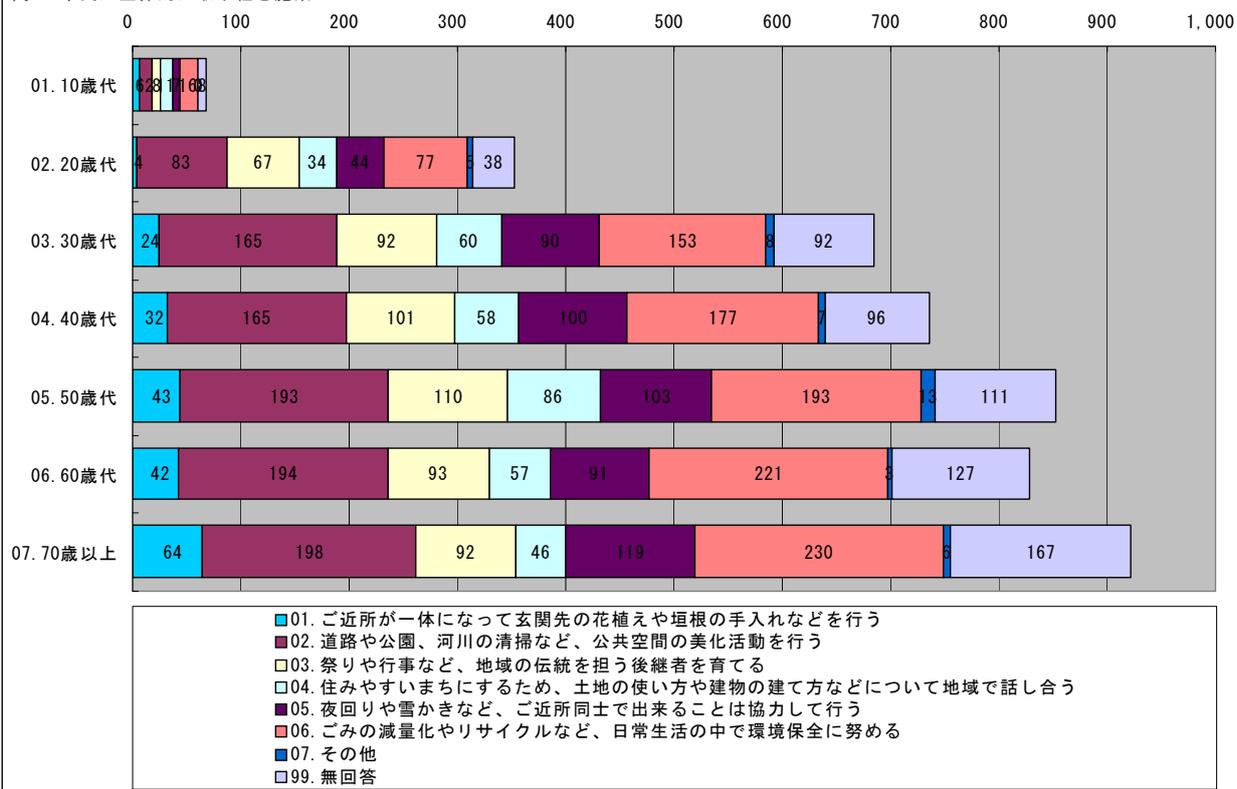


### (2) 年齢別の傾向

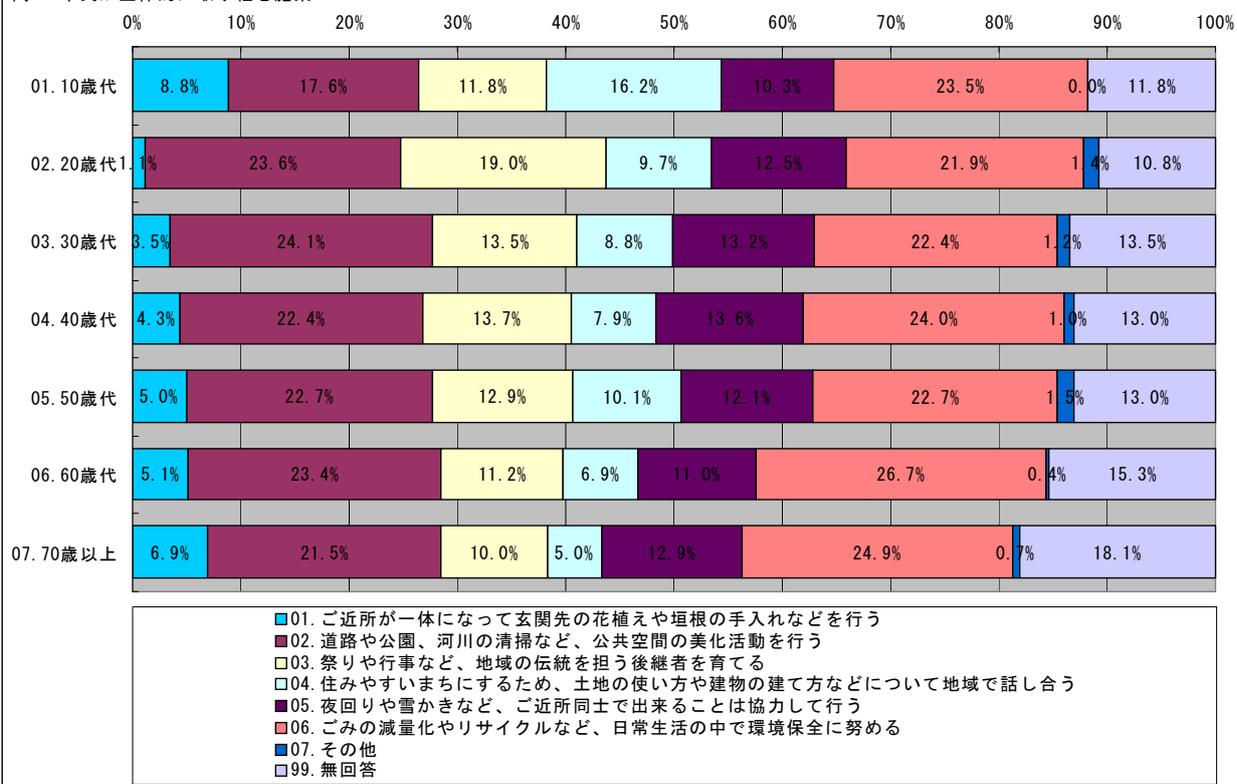
年齢別に見ると、10歳代は他の年代に比較して「01. ご近所が一体になって玄関先の花植えや垣根の手入れなどを行う」や「04. 住みやすいまちにするため、土地の使い方や建物の建て方などについて地域で話し合う」を選択する割合が高くなっています。

「03. 祭りや行事など、地域の伝統を担う後継者を育てる」を選択する割合は、20歳代以降は高齢になるに従い低くなっています。

問19. 市民が主体的に取り組む施策



問19. 市民が主体的に取り組む施策



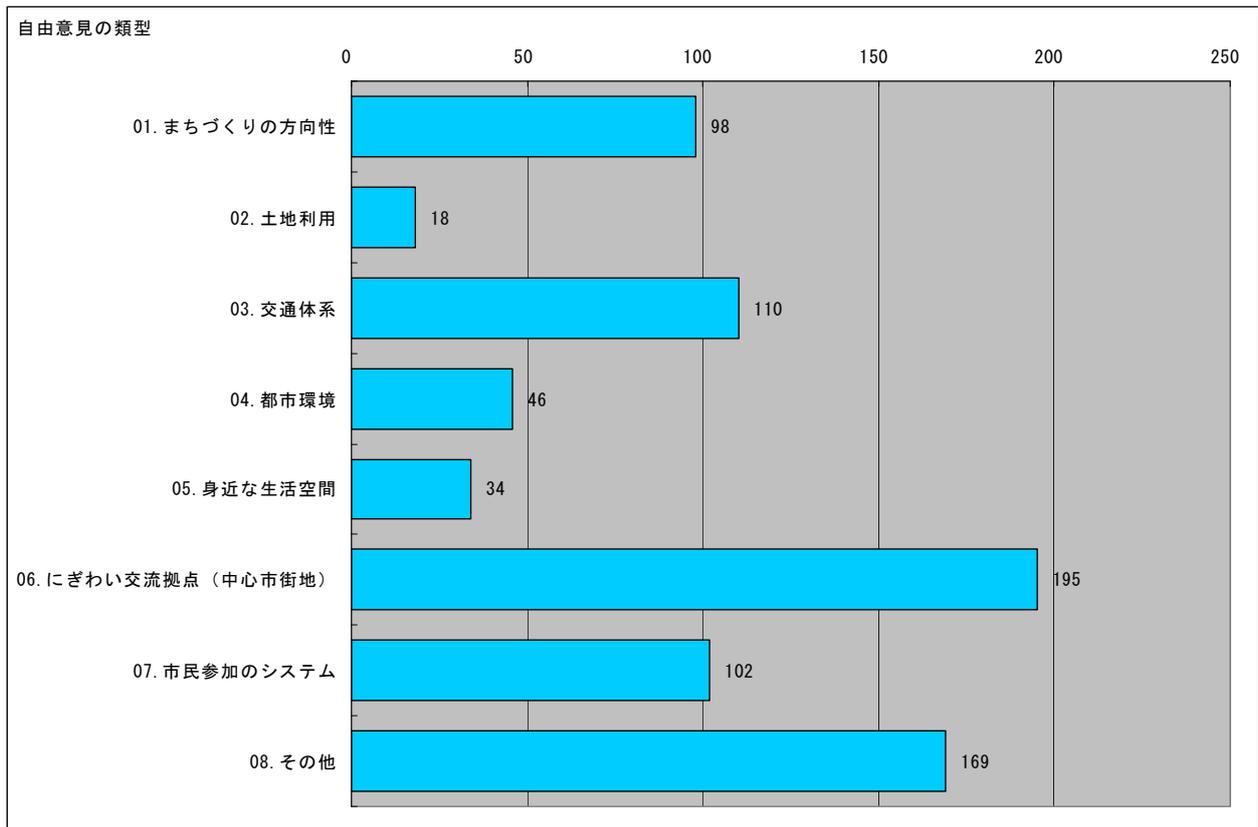
最後に、今後のまちづくりについてご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

### (1) 回答の状況

自由意見については、772 人の方から意見が得られました。

にぎわい交流拠点や交通体系や住民参加のシステム、まちづくりの方向性に対する意見が多くなっています。

その内訳は、以下のとおりです。



## (2) 意見の概要

「1. まちづくりの方向性」に関する意見 -----	97 件
<ul style="list-style-type: none"><li>・子供や高齢者にやさしいまち (11)</li><li>・住みやすさを実感できるまちづくり (10)</li><li>・安全・安心なまち (7)</li><li>・個性 (福井らしさ) を活かしたまちづくり (5)</li><li>・地域の特性を活かしたまちづくり (5)</li><li>・田舎をアピールしたまち (5)</li></ul>	
「2. 土地利用」に関する意見 -----	19 件
<ul style="list-style-type: none"><li>・自然環境の保全 (5)</li><li>・適正な土地利用の誘導 (4)</li><li>・市街地と周辺部の調和 (3)</li><li>・規制緩和 (農地の宅地化) (3)</li></ul>	
「3. 交通体系」に関する意見 -----	110 件
<ul style="list-style-type: none"><li>・バス交通の充実 (29)</li><li>・公共交通の充実 (28)</li><li>・歩道や自転車道の整備 (16)</li><li>・身近な道路の整備 (7)</li><li>・除雪・融雪の充実 (6)</li></ul>	
「4. 都市環境」に関する意見 -----	46 件
<ul style="list-style-type: none"><li>・身近な公園の整備 (7)</li><li>・花壇や街路樹の整備、維持管理 (6)</li><li>・街並みの整備 (4)</li><li>・公園の維持管理 (4)</li></ul>	
「5. 身近な生活空間」に関する意見 -----	34 件
<ul style="list-style-type: none"><li>・バリアフリーのまちづくり (8)</li><li>・公共施設の適正配置 (8)</li><li>・防犯対策 (街灯整備等) (8)</li><li>・身近な生活圏の形成 (商業サービス等) (5)</li></ul>	
「6. にぎわい交流拠点」に関する意見 -----	195 件
<ul style="list-style-type: none"><li>・中心市街地の整備、活性化 (38)</li><li>・駐車場の活用 (無料化等) (24)</li><li>・お堀の公園化 (23)</li><li>・商業機能の充実 (22)</li><li>・にぎわいのあるまち (17)</li><li>・歩ける環境づくり (12)</li></ul>	
「7. 住民参加のシステム」に関する意見 -----	102 件
<ul style="list-style-type: none"><li>・地域コミュニティの形成 (36)</li><li>・マナー、モラルの徹底 (ゴミ、交通ルール等) (24)</li><li>・住民意向の把握と反映 (22)</li></ul>	
「8. その他」の意見 -----	169 件
<ul style="list-style-type: none"><li>・行政批判 (市政への苦情) (64)</li><li>・行政批判 (税金の無駄遣い) (21)</li><li>・市政への応援 (14)</li><li>・その他</li></ul>	

## 第3部 資料編

### 1. アンケート調査票

# あなたの声から始まる市民が主役のまちづくり

～ 「福井市都市計画マスタープラン」改訂のための市民アンケート調査 ～

## アンケートにご協力いただく皆様へ

福井市都市計画マスタープラン（平成12年策定）は、福井市総合計画などとの調整を図りながら、本市の総合的な都市づくりの指針として定める計画です。

これまで福井市では『人と文化をむすぶ「歩ける」まち』を都市づくりの理念とし、福井駅周辺においては中心市街地の活性化のための取り組みを進めるとともに、周辺部においては福井らしい豊かな自然環境を守りながら快適な生活圏づくりに努めてまいりました。また、市民が主役のまちづくりを進めるため、身近なまちづくり推進条例の制定などにも取り組んできたところです。

こうした中、福井市は美山町、越廼村、清水町と合併（平成18年2月）し、人口約27万人の新しい市に生まれかわりました。これから本格化する少子高齢社会や環境問題のもとで、より一層の効率的な都市運営や安全・安心なまちづくりに取り組み、北陸地方の中核都市として個性的で魅力あるまちづくりを行っていくため「福井市都市計画マスタープラン」の改訂を行うこととしたものです。

改訂にあたっては、まちづくりに対する市民の皆様の意向などを把握し、今後の都市づくりに生かしていきたいとの考えから、当該アンケート調査を実施することといたしました。

お忙しいところ恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い致します。

平成20年1月 福井市長 東村 新一

### ▶ ご記入に当たっての注意事項 ◀

- このアンケート調査は、市内在住の18歳以上の方を対象として無作為に抽出した5,000人の方をお願いしています。
- アンケート調査は、統計的に処理し、目的以外に使用することはありません。
- 宛名のご本人が回答し、アンケート用紙に直接、ボールペンなどで当てはまる番号に○を付けてください。設問によって○の数が変わりますので、注意してください。
- アンケートにご記入の上、同封の返信用封筒に入れていただき（切手を貼る必要はありません）、平成20年2月12日（火）までにご投函ください。

調査に関する  
問い合わせ先

福井市 都市戦略部 都市計画課

TEL：(0776) 20-5450 FAX：(0776) 20-5453

E-mail tosi@city.fukui.lg.jp

はじめに、あなた自身のことについて、お聞かせください。

問1：あなたの性別 (○は1つ)

1. 男性

2. 女性

問2：あなたの年齢 (○は1つ)

1. 10歳代

2. 20歳代

3. 30歳代

4. 40歳代

5. 50歳代

6. 60歳代

7. 70歳以上

問3：あなたのお住まいの住所（「福井市」の次に、町または丁目までお書きください。）

福井市

町  
丁目

問4：あなたの居住歴 (○は1つ) (福井市とは、合併後の福井市です。)

1. 福井市に生まれて、ずっと福井市に住んでいる

2. 福井市に生まれて、福井市以外で生活をしたことがあるが、現在は福井市に住んでいる

3. 県内の他の市町村から転入してきた (福井市以外で生まれた方)

4. 県外から転入してきた (福井市以外で生まれた方)

問5：通勤・通学や買い物、通院など、日頃、外出する際に最も利用する交通手段は何ですか (○は1つ)

1. 徒歩

2. 自転車

3. オートバイ (原付含む)

4. 自動車

5. バス (路線バス、すまいるバス、フレンドリーバス)

6. 鉄道 (JR, 福井鉄道、えちぜん鉄道)

7. その他 ( )

1. あなたがお住まいになっている地区（小学校区程度の範囲）の状況について、お聞かせください。

問6：項目ごとに当てはまるところに○を付けてください。（それぞれ○は1つ）

種別	お住まいの地区の状況	感じる	やや感じる	あまり感じない	感じない
生活環境	①自然が豊かだと感じますか				
	②日照や静かさなどの住宅地の環境が良いと感じますか				
	③普段の買い物をする店が身近にあると感じますか				
	④病院や公民館など公共施設が身近にあると感じますか				
道路や交通	⑤バス停や鉄道の駅が身近にあると感じますか				
	⑥道路が整備され、車での移動がしやすいと感じますか				
	⑦徒歩や自転車での移動がしやすいと感じますか				
緑や景観	⑧外で遊んだり、体を動かせるような場所（公園や広場など）が身近にあると感じますか				
	⑨住宅の庭先の花木など、地区内に緑が多いと感じますか				
	⑩川や水路など、水にふれあえる状況にあると感じますか				
	⑪建物などに統一感があり、家並みが美しいと感じますか				
安全や安心	⑫地震や火災、水害などに対して安全だと感じますか				
	⑬近所づきあいが盛んだと感じますか				
	⑭地域ぐるみで防犯対策に取り組んでいると感じますか				
総合	⑮総合的にみて暮らしやすいと感じますか				

問7：問6の項目に関連して、今後、皆さんのお住まいの地区で特に対策が必要であると思われる点について、お聞かせください。（○は2つまで）

1. 自然環境の保全	2. 日照や風通しなど、住環境の改善
3. 商店街やスーパーマーケットなどの充実	4. 病院や公民館などの公共施設の整備
5. 公共交通機関の整備・充実	6. 道路の整備・改善
7. 歩道や自転車道の整備	8. 公園や緑地の整備・改善
9. 地区内の緑化の推進	10. 川や水路の整備・改善
11. まちなみや景観の向上	12. 自然災害に対する安全対策
13. ご近所同士の交流	14. 防犯対策
15. その他（	）

問8：福井市では、生活環境を守るため、土地の使い方や建物の建て方（土地利用）に関するルールを定めていますが、こうしたルールをどのように感じておられますか。皆さんのお住まいの地区を対象にお答えください。（○は1つ）

1. 生活環境をより良くするため、土地利用のルールをもう少し厳しくするべきである ●
2. 生活環境に不満や不都合を感じていないので、現状のままでよい
3. 生活環境の保全是必要ではあるが、土地利用のルールはもう少し緩やかにするべきである
4. 生活環境より自由な土地利用を優先するべきであり、土地利用のルールは必要ない
5. その他（ ）

上記の質問で、「1. 土地利用のルールをもう少し厳しくするべきである」と  
答え方のみ、次の質問にお答え下さい。  
それ以外の方は、次ページの問9にお進みください。

(2) 上記の質問で、1に○を付けた方は、どんなルールが必要だと思いますか。  
該当するものすべてに○をつけてください。

1. 山林や農地などの自然地域における開発
2. 住宅、工場、店舗といった建物の種類（用途）
3. 建物の高さ
4. 建物のデザインや色
5. 建物を建てる土地（敷地）の最低の面積
6. 看板や公告物などの大きさや色、デザイン
7. 花植えや垣根の設置など緑化に関すること
8. その他（ ）



問 11：やすらぎや、うるおいの感じられるまちづくりについて、どのようなことに取り組むべきだと思いますか。 (○は1つ)

1. 山林や農地など、自然環境を保全する
2. 市街地の中に、緑や水にふれあえる空間を増やす
3. 歴史・文化資源を保全、活用する
4. 建物や道路などのデザインに配慮した美しいまちなみをつくる
5. その他 ( )

問 12：災害に強いまちづくりを進めていく上では、河川の改修や避難所の整備など、公共事業を行うことで絶対に大丈夫ということは困難です。  
災害を軽減するために市民の皆様はどのようなことに取り組むべきだと思いますか。 (○は2つまで)

1. 建物の敷地内に一時的に雨水を溜めたり、地下に浸透させるようにする
2. 建物を地震に強くしたり、燃えにくくしたりする
3. 避難訓練や防災訓練に参加するなどして、災害に対する意識を高める
4. 地域住民で危険箇所を点検し、避難場所や避難ルートに記載した地図を作成するなど、地域の協力体制を整える
5. 家族で定期的に話し合い、非常持ち出し品を確認したり、事前に災害時の対応を決めておく
6. その他 ( )



### 3. 福井市の中心部について、お聞かせください。

問 13：現在、JR福井駅を中心とした福井市の中心市街地には、どのくらいの割合で訪れますか。 (○は1つ)

- |             |             |            |
|-------------|-------------|------------|
| 1. ほとんど毎日   | 2. 週に1～2回   | 3. 月に1～2回  |
| 4. 3ヶ月に1回程度 | 5. 6ヶ月に1回程度 | 6. 1年に1回程度 |
| 7. ほとんど行かない | 8. その他 ( )  |            |

問 14：中心市街地に訪れる主な目的は何ですか。 (○は1つ)

- |                        |                      |
|------------------------|----------------------|
| 1. 仕事（中心部に職場がある）       | 2. 仕事（職場はないが営業などで行く） |
| 3. 買い物                 | 4. 飲食                |
| 5. 娯楽・レジャー             | 6. 習い事               |
| 7. 交通機関の利用（通勤・出張・旅行など） | 8. その他 ( )           |

問 15：その場合（問 14 の目的）の主な交通手段は何ですか (○は1つ)

- |                       |                             |                |
|-----------------------|-----------------------------|----------------|
| 1. 徒歩                 | 2. 自転車                      | 3. オートバイ（原付含む） |
| 4. 自動車                | 5. バス（路線バス、すまいるバス、フレンドリーバス） |                |
| 6. 鉄道（JR、福井鉄道、えちぜん鉄道） | 7. その他 ( )                  |                |

問 16：JR福井駅を中心とした福井市の中心市街地について、今後、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか。 (○は2つまで)

- |  |
|--|
| 1. 百貨店やホテル、店舗など、活気あふれる商業機能を充実させる             |
| 2. オフィビルなど、働く場所としての機能を充実させる                  |
| 3. 病院や託児所、老人ホームなど、福祉機能を充実させる                 |
| 4. 映画館、レストラン、歓楽街など、楽しみ・遊べる機能を充実させる           |
| 5. 音楽ホールや劇場など、芸術・文化が楽しめる機能を充実させる             |
| 6. 史跡や文化遺産を活用し、歴史の香りが感じられる雰囲気をつくる            |
| 7. 緑や水に気軽にふれあえる、心がやすらぐ空間をつくる                 |
| 8. 段差の解消や歩道の幅を広げるなど、すべての人が安全で歩きやすい環境をつくる     |
| 9. 自転車、自家用車、バス、鉄道など、様々な手段で気軽に訪れることのできる環境を整える |
| 10. 洗練されたデザインのビルが建ち並ぶ、センスの良いまちなみをつくる         |
| 11. 家族で住める住宅を増やす                             |
| 12. その他 ( )                                  |

#### 4. 市民のまちづくりへの参加について、お聞かせください。

問 17：まちづくりの活動に興味をお持ちですか。 (○は1つ)

1. すでにまちづくり活動に参加している
2. まちづくりの活動に興味があり、今後は参加したい
3. まちづくりには興味があるので、会合などがあれば出席して聞いてみたい
4. まちづくりには自治会を通じて参加したい
5. まちづくり活動には参加できないが、情報は知りたい
6. まちづくり活動には興味がない
7. その他 ( )

問 18：今後のまちづくりにおいて、市民の皆様と行政の関係はどうあるべきだと思いますか。 (○は1つ)

1. まちづくりは市民が主体となって進めるべきだと思う
2. まちづくりは市民と行政が良く話し合いながら進めていくべきだと思う
3. まちづくりは行政が行うべきだが、市民もできることから参加するべきだと思う
4. まちづくりは行政に任せておけばよいと思う
5. その他 ( )

問 19：今後、市民参加によるまちづくりを進めていく上で、市民が主体的に取り組むべきことはどのようなことだと思いますか。 (○は2つまで)

1. ご近所が一体になって玄関先の花植えや垣根の手入れなどを行う
2. 道路や公園、河川の清掃など、公共空間の美化活動を行う
3. 祭りや行事など、地域の伝統を担う後継者を育てる
4. 住みやすいまちにするため、土地の使い方や建物の建て方などについて地域で話し合う
5. 夜回りや雪かきなど、ご近所同士で出来ることは協力して行う
6. ごみの減量化やリサイクルなど、日常生活の中で環境保全に努める
7. その他 ( )

最後に、今後のまちづくりについてご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
-------------------------

～ 以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。～

## 2. その他のクロス集計

(※ここでは、地区別(市街地内外別)に集計した際に、特徴のある結果が得られた設問のみを取り上げている。)

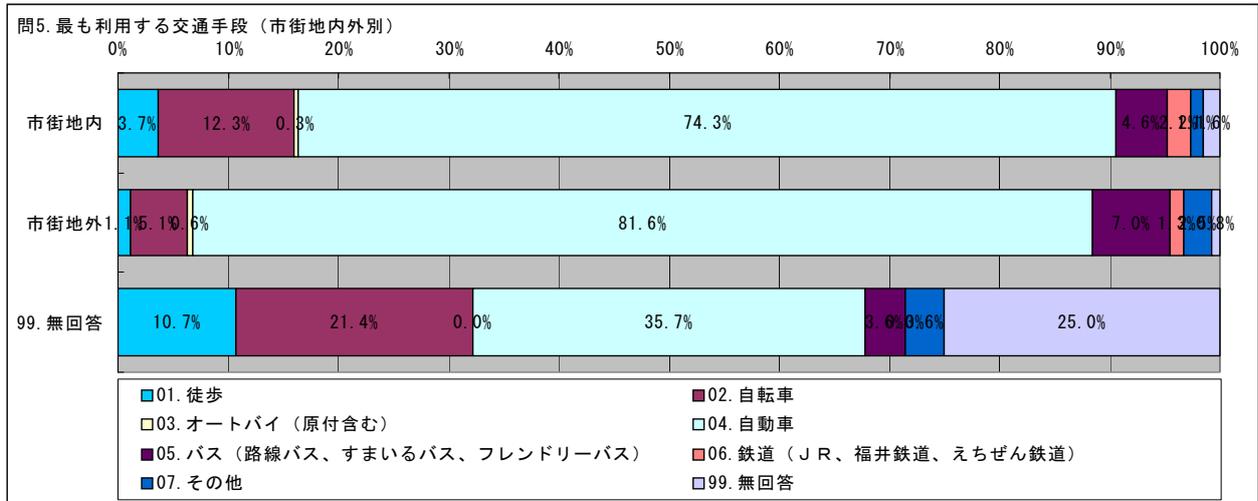
⇒市街地内：地区(公民館区)の大半が市街化区域に含まれる

⇒市街地外：地区(公民館区)の大半が市街化調整区域、都市計画区域外に含まれる

### 問5：最も利用する交通手段(1つ選択)

市街地内では、市街地外に比較して「01. 徒歩」や「02. 自転車」の割合が高くなっています。

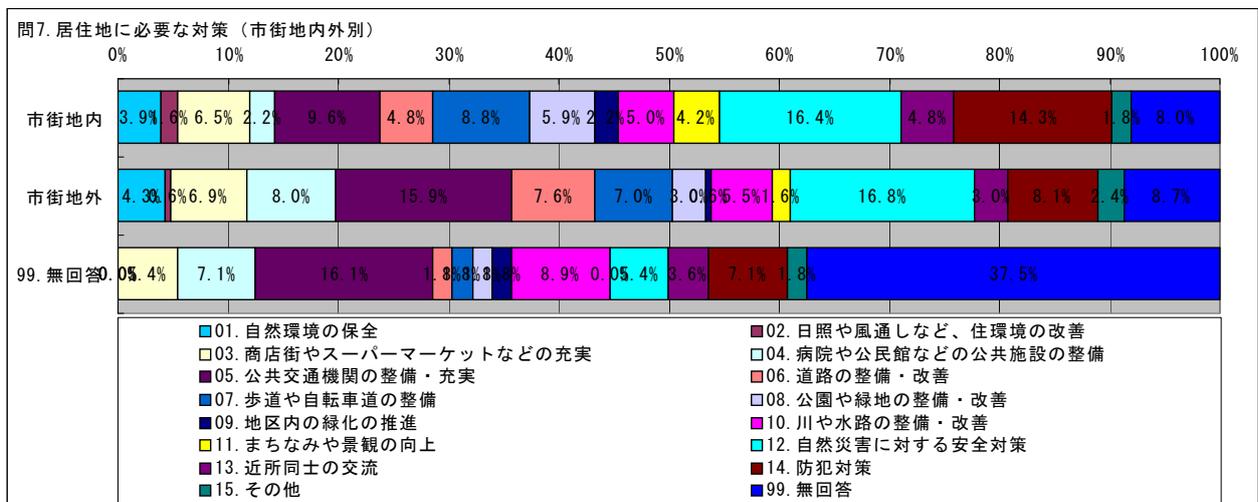
市街地外では、「04. 自動車」の割合が高くなっています。また、「05. バス」の利用もやや高くなっています。



### 問7：問6の項目に関連して、今後、皆さんのお住まいの地区で特に対策が必要であると思われる点について、お聞かせください(2つまで選択)

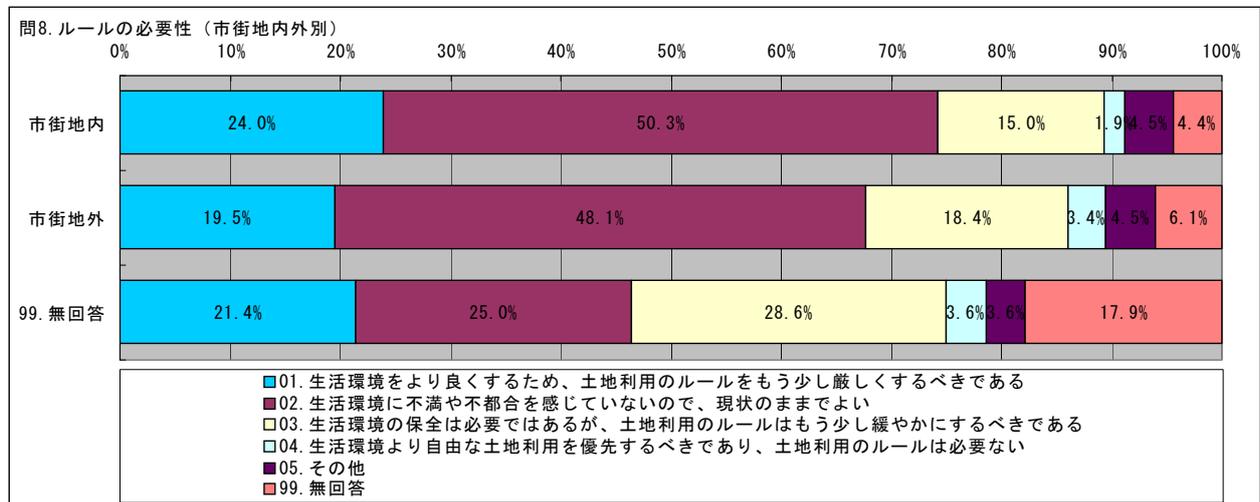
市街地内では、市街地外に比較して「14. 防犯対策」が高くなっています。

市街地外では、「04. 病院や公民館などの公共施設の整備」、「05. 公共交通機関の整備・充実」が高くなっています。



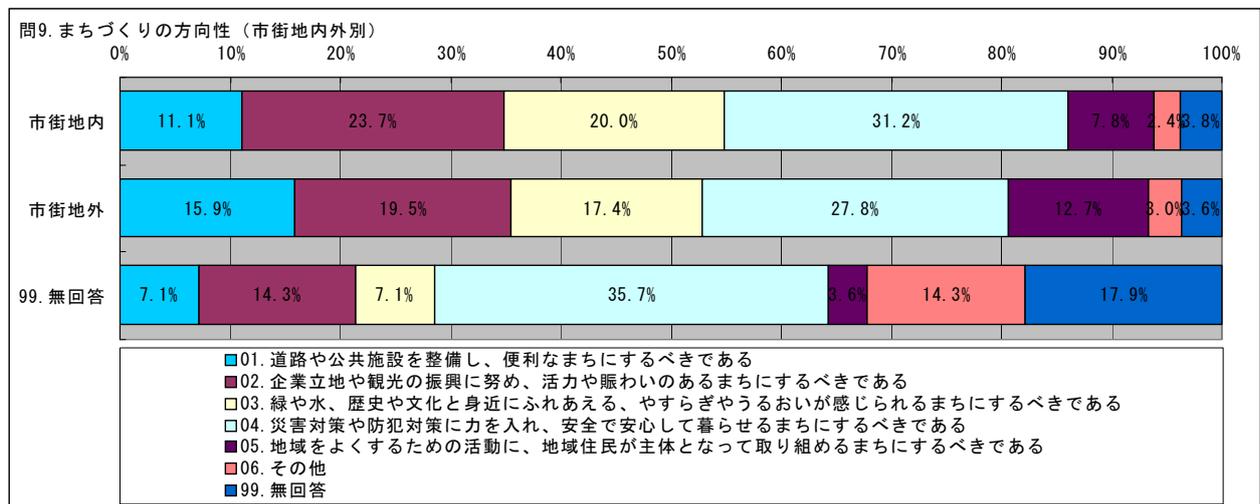
問8(1)：福井市では、生活環境を守るため、土地の使い方や建物の建て方（土地利用）に関するルールを定めていますが、こうしたルールをどのように感じておられますか。皆さんのお住まいの地区を対象にお答えください。（1つ選択）

市街地内では、市街地外に比較して「01. ルールを厳しくすべき」が高くなっています。  
市街地外では、「03. 緩やかにすべき」が高くなっています。



問9：今後は市全体として主にどのようなまちづくりの方向に進むべきだと考えますか。（1つ選択）

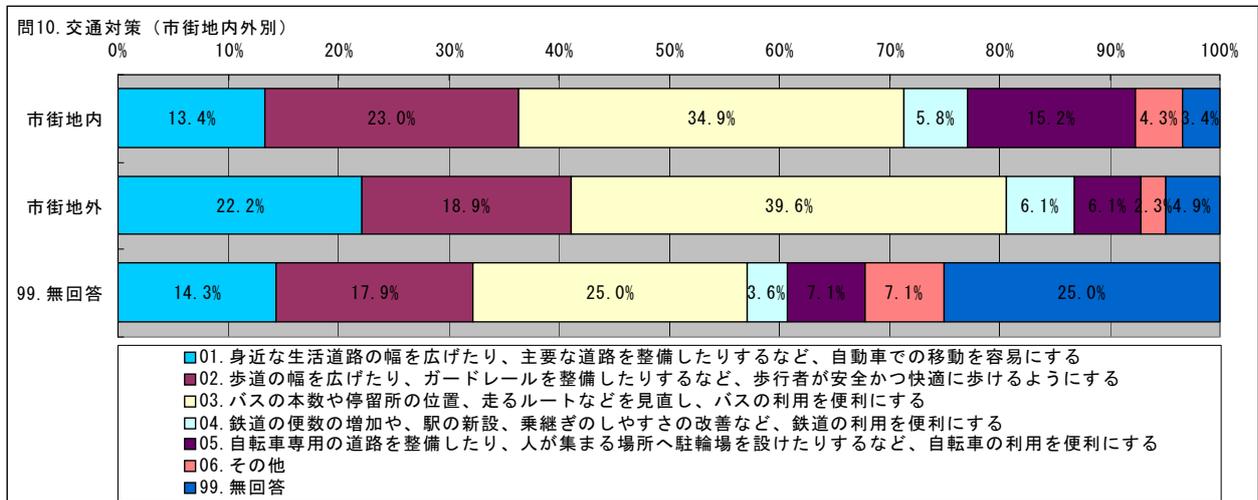
市街地外では、市街地内に比較して「01. 道路や公共施設を整備し、便利なまちにすべきである」、「05. 地域をよくするための活動に、地域住民が主体となって取り組めるまちにすべきである」が高くなっています。



**問 10：交通対策について、今後、どのようなことに取り組むべきだと思いますか。（1つ選択）**

市街地内では、市街地外に比べて「05. 自転車の利用を便利にする」が高くなっています。

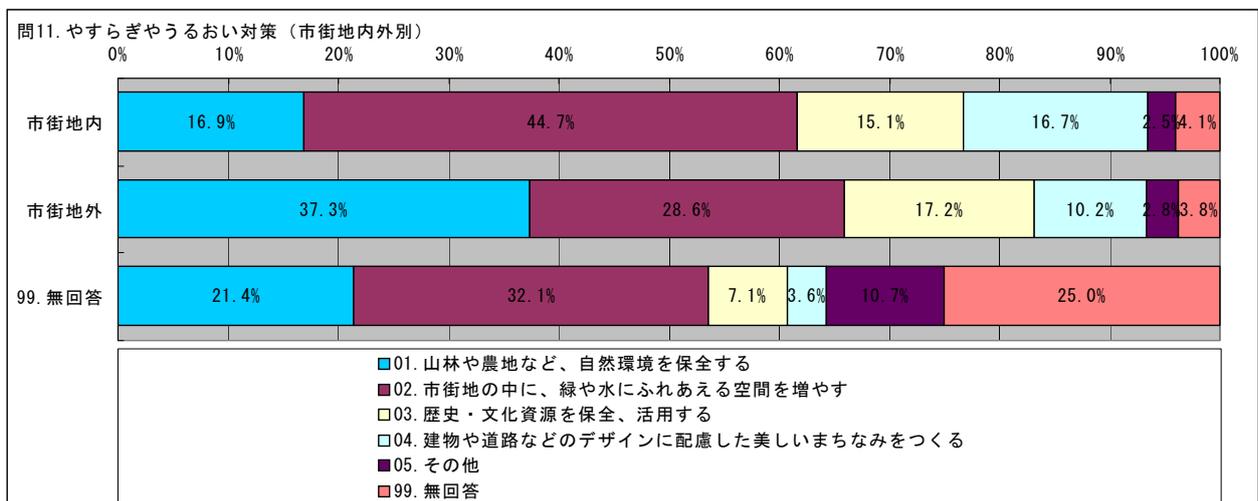
市街地外では、「01. 自動車での移動を容易にする」、「03. バスの利用を便利にする」が高くなっています。



**問 11：やすらぎや、うるおいの感じられるまちづくりについて、どのようなことに取り組むべきだと思いますか。（1つ選択）**

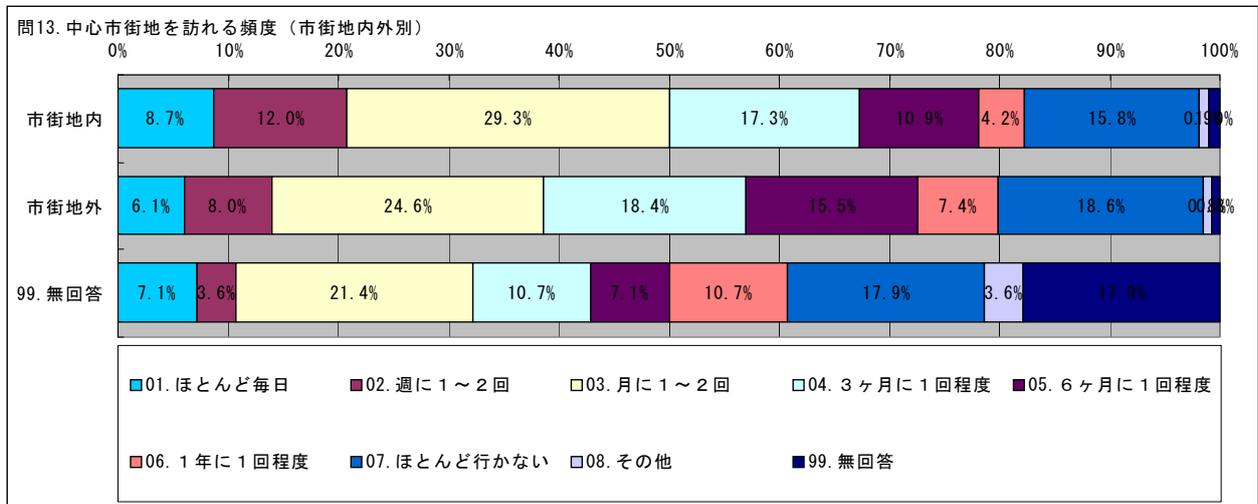
市街地内では、市街地外に比べて「02. 市街地の中に、緑や水にふれあえる空間を増やす」が高くなっています。

市街地外では、「01. 山林や農地など、自然環境を保全する」が高くなっています。



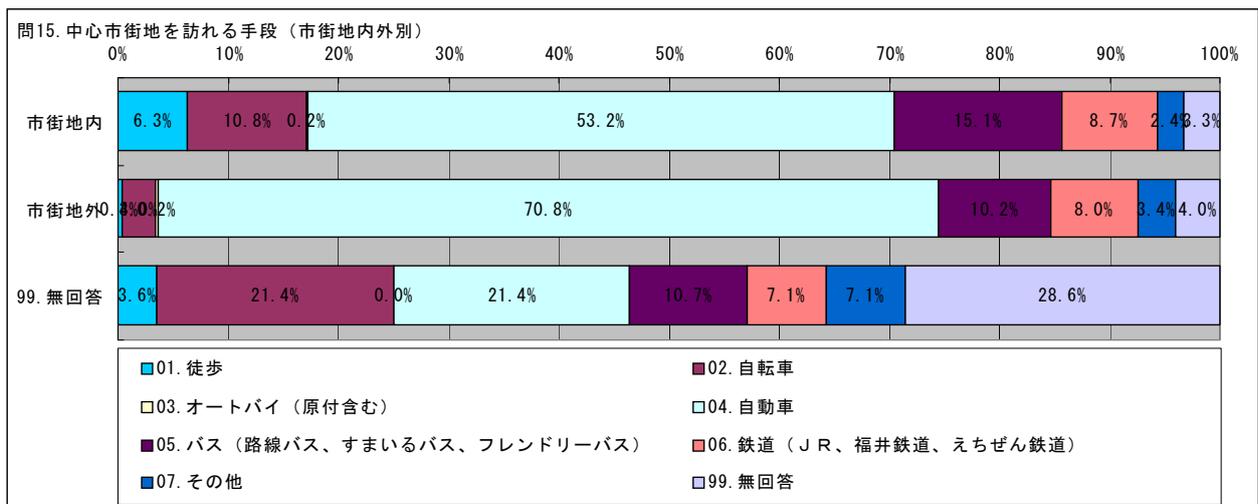
**問 13：現在、JR福井駅を中心とした福井市の中心市街地には、どのくらいの割合で訪れますか。（1つ選択）**

市街地内では、市街地外に比べて中心市街地に訪れる頻度が高くなっています。



**問 15：その場合（問 14 の目的）の主な交通手段は何ですか。（1つ選択）**

市街地内では、市街地外に比べて徒歩や自転車、バスの利用の割合が高くなっています。



問 16：JR福井駅を中心とした福井市の中心市街地について、今後、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか。（2つまで選択）

市街地内では、市街地外に比べて「01. 商業機能を充実させる」が高くなっています。  
市街地外では、「09. 気軽に訪れることのできる環境を整える」が高くなっています。

